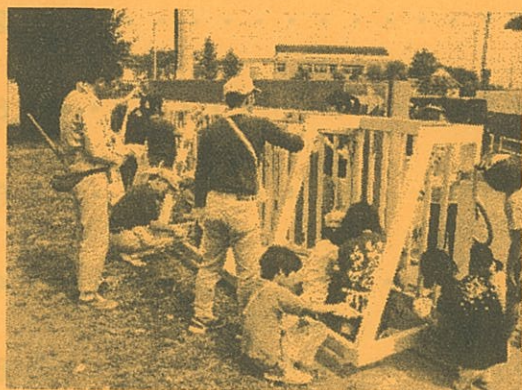


# 「川越・地域子どもサポート推進事業」 平成21年度 実践報告書



～子どもは地域の宝

私たちは子ども応援団の一員です～

川越市教育委員会

## 目次

「学校・家庭・地域がひとつとなって」	1
芳野地区 地域子どもサポート委員会	2
中央北地区 地域子どもサポート委員会	6
大東地区 地域子どもサポート委員会	10
霞ヶ関北地区 地域子どもサポート委員会	14
中央南地区 地域子どもサポート委員会	18
福原地区 地域子どもサポート委員会	21
南古谷地区 地域子どもサポート委員会	24
古谷地区 地域子どもサポート委員会	28
川鶴地区 地域子どもサポート委員会	31
霞ヶ関地区 地域子どもサポート委員会	33
中央地区 地域子どもサポート委員会	37
高階地区 地域子どもサポート委員会	41
名細地区 地域子どもサポート委員会	44
山田地区 地域子どもサポート委員会	47

## 『学校・家庭・地域がひとつとなって』

平成16年度から始まった、「川越・地域子どもサポート推進事業」ですが、本年度の実践報告会をもって、市内14地区全ての委員会が発表を行ったこととなります。

各地区の皆様には「地域の子どもたちに、地域で生きる力をつける」という熱い思いを持ちながら、たくさんの事業にお取組いただきました。地域の方々とのふれ合いの中で生まれた数々の体験が、子どもたちを確実に大きくしているものと実感しております。

この子どもたちが、自分の住む地域に愛着と誇りと持ち、やがてその地域を支える力になってくれることと期待しています。

実践報告会の講評の中で、東京国際大学の遠藤先生から、これから事業を行う大切なポイントとして、『活動を継続させるためには、各地区の中で核となる事業を作っていくこと』『事業を通して、子どもたちに不足している人間関係形成能力や自己表現力などを育ててほしいということ』そして『地域の中で目標とするものをキャッチフレーズとして掲げ、常に意識しながら活動をしていくこと』など、ご指導をいただきました。

来年度に向けて、各地区の活動がこれらのことを踏まえ、地域や学校、子どもたちの実態に合った形で、ますます充実発展していくことを願っております。

この実践報告書を、14地区の皆さんがお互いの取組みについてよく知り、そしてよいものを自分の地区に取り入れて実践を行っていくためにご活用していただけたら幸いです。

これからも、川越市の子どもたちのために、皆さんのお力をお貸しいただけますようどうぞよろしくお願い致します。

**学校・家庭・地域がひとつとなって、地域の宝である子どもたちを  
育てていきましょう！**

平成22年3月 川越市教育委員会

## 芳野地区 地域子どもサポート委員会の活動紹介

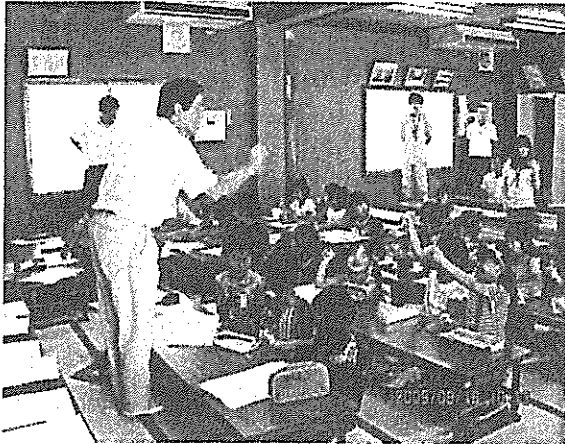
1 はじめに	<b>地域の紹介</b> 芳野地区は、川越市の北東部に位置し、北側から東側を囲むように入間川が流れる緑豊かな田園地帯で、小学校・中学校が各1校あります。近年、埼玉医科大学・芳野台工業団地などの拡張により、静かだった地区の様子も変化しつつあります。	
2 事業のねらい	地域の中で子どもたちの「生きる力」を育てていくためには、地域の大人が今の子どもを知り、関心を持つことが大切です。そのために、子どもに関わる団体のネットワークを広げ、様々な子どもに関する情報を通信により発信し、行事を通じて関わりを深めていくように活動を行ってきました。	
3 サポート 委員会 組織構成	委員 25名	自治会、芳野小PTA、芳野小育成会、芳野中PTA、公民館運営協力員、主任児童委員、保健推進員、体育協力員、ユースリーダー、子育てサロンスタッフ、ほか
	協力員 6名	芳野小学校、芳野中学校（校長・教諭）、公民館（館長・職員）
4 活動内容		
① 主要な事業		
月日（曜）	実施事業	内 容（参加人数）
8月4日、11日、18日（火）	寺子屋芳野っ子	夏休みに、地域の大人たちが小学生の学習を指導する。（のべ200名）
8月30日（日）	デイ・キャンプ	小川げんきプラザにて、飯ごう炊飯・スタンプラリーを体験。（58名）
9月26日（土）	芳野中学校授業公開参加	サポート委員が、芳野中学校の授業公開に参加。（15名）
10月24日（土）	親子グラウンドゴルフ大会協力	農業ふれあいセンターにて実施された芳野スポーツクラブ主催の親子グラウンドゴルフ大会に協力。（50名）
10月25日（日） 31日（土） 11月1日（日）	綱引き大会練習会	生涯スポーツフェスティバル・綱引き大会に参加するために、小学校4～6年生で7チームを結成し、練習を3回実施。（70名）
11月3日（祝）	生涯スポーツフェスティバル・綱引き大会参加	7チームが出場し、4チームが決勝進出。（70名）
1月31日（日）	ボウリング大会協力	ユニクスボウルにて、芳野スポーツクラブ主催のボウリング大会に協力。（50名）
2月20日（土）	星空観察	芳野小学校にて実施。（50名）
3月14日（土）	スキー教室協力	宝台樹スキー場にて、芳野スポーツクラブ主催のスキー教室に協力。（92名）
6月、9月、12月、3月、各25日／サポート通信「我ら芳野っ子」発行		

② サポート委員会開催状況			
月日(曜)	会議名	内容	参加人数
5月13日(水)	第1回サポート委員会	役員改選、事業計画、予算について	28人
6月11日(木)	第2回サポート委員会	寺子屋、デイ・キャンプについて	24人
7月23日(木)	第3回サポート委員会	寺子屋、デイ・キャンプについて	23人
9月10日(木)	第4回サポート委員会	寺子屋、デイ・キャンプの報告 作品展、キッズコーナーについて	23人
10月15日(木)	第5回サポート委員会	体育祭(作品展)中止の報告 綱引き大会について	23人
11月19日(木)	第6回サポート委員会	綱引き大会の報告 星空観察について	16人
1月14日(木)	第7回サポート委員会	星空観察について	23人
3月11日(木)	第8回サポート委員会	1年間事業を振り返って 来年度サポート委員について	29人
5 地域人材について 登録分野・支援場面等			
登録分野	昔の遊び、ワラ草履作り、うどん作り、まんじゅう作り、託児、学習指導		計11人
支援場面	小学校でワラ草履作り、子ども会事業でまんじゅう作りを指導		計5人
6 成果と課題			
<p>【成果】 「寺子屋芳野っ子」は地域に広まり子どもの参加も昨年以上であった。また、ボランティアスタッフも中学生、高校生、地域の大人たちとたくさんの方々に協力して頂き「地域の子どもは地域で育つ」ということを改めて感じた。「デイ・キャンプ」にて飯盒炊飯とカレー作りを体験した。災害に直面した時のことを考え、薪で火をおこし自分たちでご飯を炊くという事を覚えた。今後も継続し生きる力を身につけて欲しいと思う。「綱引き大会」も年々参加者が増え、子ども達も仲間と一緒に心と気持ちを一つにし、勝った喜び、負けた悔しさを経験しチームワーク、共に喜びあえる仲間の大切さも感じたのではない。</p> <p>【課題】 毎年、同じ行事の繰り返しで良いのだろうか。また、その行事を発展させていくにはどのようにすべきか。学校応援団に対し、地域ボランティアの募集、育成と活動内容についてサポート委員会としてどこまでの支援ができるのか、更に検討を重ね充実した事業展開を図っていきたい。</p>			

●寺子屋芳野っ子

- ・日時／8月4日、11日、18日(火) 午前9時～正午 ・会場／芳野公民館
- ・参加者／小学校1～6年生 ・参加人数／のべ200人

地域の大人、大学生、高校生、中学生、ユースリーダー、ジュニアリーダーが、宿題プリント  
絵画、習字、工作、などの指導にあたりました。また、毎回終わりの30分をお楽しみ会とし  
て映画鑑賞、ボランティアグループによるハーモニカ演奏、まんじゅうづくりなどを実施し  
ました。



●デイ・キャンプ

- ・期日／8月30日(日) ・会場／埼玉県立小川げんきプラザ
- ・参加者／小学3年生～6年生 ・参加者人数／58名

野外活動に参加することで、自主性・基本的生活を身につけることを目的として、大型バス  
に乗り、デイ・キャンプに行ってきました。「作る楽しさを知ろう」ということで、飯ごう炊飯・  
カレーづくりを実施、仲間と作ったカレーは格別でした。ピカピカの後片付けも、係りの人  
に褒められてさすが芳野っ子でした。「山の危険を知ろう」ということで、スタンプラリーを  
実施、全員ゴールできました。その後、プラネタリウムを体験、壮大な星の世界へひきこまれ  
ました。さまざまな体験から芳野っ子の成長を感じた一日でした。



●生涯スポーツフェスティバル・綱引き大会参加

・期日／11月3日（祝） ・会場／川越運動公園総合体育館

小学校4年生以上70名・7チーム結成し参加。4チームが決勝に進出しました。

また、10月25日（日）・31日（土）・11月1日（日）の3日間、芳野小学校の体育館において練習会を実施しました。

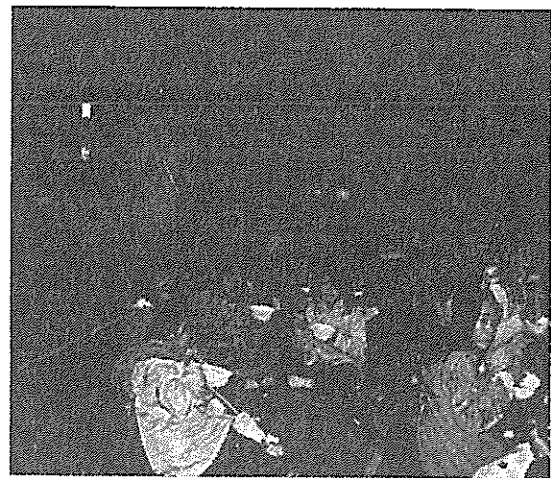
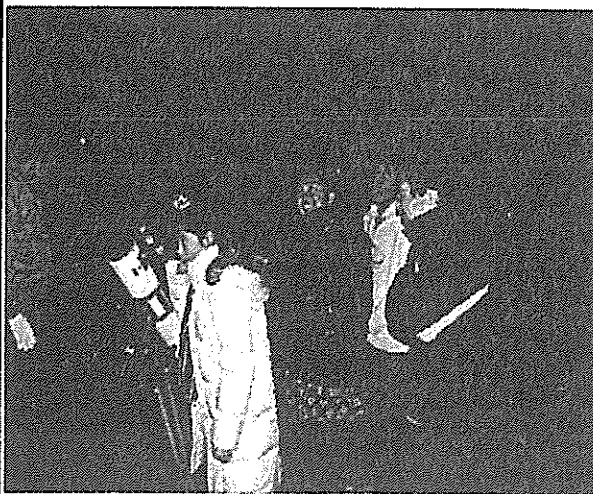


●星空観察

・期日／2月20日（土） ・会場／芳野小学校体育館

・参加者／小・中学生 ・参加者人数／50名

宇宙、星、神秘的な世界へ興味・関心を抱く目的で本年より、委員会主催事業として取り組みました。風の冷たい夜でしたが、星を見上げるには最適。きれいに澄んだ夜空を見上げ、しばし神秘的な世界へと…。星を堪能した後は、サポート委員のお母さんが作ったトン汁で心も体もホカホカになりました。



## 中央北地区 地域子どもサポート委員会の活動

1 はじめに	中央北地区は、旧市街地北部に位置し、かつての川越の中心であった、川越城の本丸御殿、行政の中心である市役所（本庁）が有り、現在、観光のシンボルとなっている“時の鐘”、又、博物館、美術館などの公共施設もある文化的環境として、成熟度の高い地域です。		
2 事業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちの生きる力を育むため、家庭、学校、社会教育施設、地域社会の連携・協力を通して、多種多様な学習活動や、豊かな自然体験、社会体験の機会を提供し、充実した子どもたちの活動を支援することを目的とする。</li> <li>○ 重点活動として、より広く、深く学校・地域との連携を深めた活動にしていく。</li> </ul>		
3 サポート 委員会 組織構成	委員 15名	選出母体（人数）： 北公民館（11名）、川越小（1名）、月越小（1名）、今成小（2名） 初雁中（0名）	
	協力員 12名	川越小学校、月越小学校、今成小学校、初雁中学校（校長・教諭）、 北公民館（館長・職員）、博物館・美術館（職員）	
4 活動内容 ① 主要な事業			
月日（曜）	実 施 事 業	内 容	
6月13日（土）	ブーメランまつり	今成小学校にて、子どもの参加人数：73名 文化祭見学の件を中央地区役員と 7月21日～24日、8月3日～7日	
6月15日（月）	高校文化祭見学ツアー打ち合わせ		
7月21日（火）から	夏休みの勉強会（初雁中学）	} 蒸しパン、ルシアンクッキー	
8月7日（金）午前・午後	料理教室第一弾（北公民館）1、2回目		
8月7日（金）午前・午後	料理教室第一弾（北公民館）3、4回目	} 中央地区の子どもたちも一緒に：108名参加 中央地区と共催	
8月27日（木）	“くすのき祭”（県立川越高校）		
9月12日（土）午後	“ふじぞの祭”（山村学園高校）	} 中央地区と共催	
9月12日（土）午前	“紫苑祭”（川越女子高校）		
9月13日（日）	“星華祭”（星野高校）	} 中央地区と共催 新インフルエンザのためツアー計画のみで中止 サポート委員が授業に協力	
10月23日（金）	（“川総祭”と“工業祭”は中止） 一年生と昔遊びの会（川越小学校）		
11月15日（日）	料理教室第二弾（北公民館）1回目	} スープカレー・サラダ・ごはん	
11月21日（土）	料理教室第二弾（北公民館）2回目		
12月14日（月）	広報紙の発行	} 21年度第1号（B4版で作成） 年末・年始の4日間	
12月25日（金）から	冬休みの勉強会（初雁中学）		
2月7日（日）	料理教室第三弾（北公民館）1回目	} ミートソース スパゲティ、クラシックショコラ	
2月14日（日）	料理教室第三弾（北公民館）2回目		
2月21日（日）	ひろばであそぼう（こどもの城）	} 子どもたち64名、大東文化大生10名協力 ミートソース スパゲティ、クラシック ショコラ	
3月6日（土）	料理教室第三弾（北公民館）3回目		
3月18日（木）	広報紙の発行	} 21年度第2号（B4版で作成）	
② サポート委員会開催状況（下表以外、毎月の役員会と専門部会を別に開催）			
月日（曜）	会 議 名	内 容	参加人数
4月25日（土）	第1回サポート委員会	子どもサポート委員長ほか役員選出	16名
5月16日（土）	第2回サポート委員会	年間の活動計画検討	15
6月6日（土）	第3回サポート委員会	ブーメランまつりの計画検討	14
7月4日（土）	第4回サポート委員会	料理教室第一弾検討	12
8月1日（土）	第5回サポート委員会	料理教室第一弾検討、高校文化祭検討	12
9月10日（木）	第6回サポート委員会	料理教室第二弾検討	18名



月日(曜)	会議名	内容	参加人数
10月3日(土)	第7回サポート委員会	料理教室第二弾検討	12名
11月7日(土)	第8回サポート委員会	料理教室第二弾検討、広報紙発行検討	14
12月5日(土)	第9回サポート委員会	広報紙1号発行検討	10
1月9日(土)	第10回サポート委員会	料理教室第三弾、ひろばであそぼう検討	14
2月6日(土)	第11回サポート委員会	ひろばであそぼう検討	12
3月6日(土)	第12回サポート委員会	広報紙2号発行、来年度活動等の検討	17名

## 5 地域人材について 登録分野・支援場面等

登録分野	一般的活動分野(ある、ある、探検隊活動、その他の実施イベント)	計 20人
支援場面	2008年度のある、ある、探検隊活動の各種イベントに腕章を着用し、担当	計 20人

## 6 成果と課題

### 【成果】

- 今年度当初、サポート委員の人数が昨年より減少し、活動に不安を感じましたが、結果的には、連携も固くなりました。昨年作った、“サポート なかま”(サポート委員会には出席しないが、実質的サポート活動には協力していただける人)に、“高校文化祭見学”や“料理教室”などに参加協力していただき助かった。
- 今年度は、構成する三つの小学校のPT会長がサポート委員として揃い、各学校の“学校班の班長”として、実活動において、活動の連携やレベル合わせがよりスピーディーにでき、効率的な活動になりました。
- イベント活動においては、新しく二つのイベント活動を実施し、子どもたちに楽しんでもらいました。
  - 料理教室では、女性のサポート委員の総力をあげて、子どもたちに、料理の楽しさを味わってもらうことが出来ました。場所は、学校以外の施設として、北公民館の調理室を借用しました。募集したところ、予想を超えて、毎回100名以上の応募者がありました。第1弾の夏休みの料理教室では、2日間、午前、午後と、合計4回もの教室を開きました第2弾の秋の教室では、多くの子どもたちに対応できず、やむをえず抽選にて、人数を絞らせていただきました。第3弾でも多数の応募があり、予定した2月7日と14日に加えて、3月6日の教室を急遽設けました。
  - 中学生に対しての夏と冬休みの勉強会を初めて実施しました。サポート委員会と連携する若い人たちの“Mグループ”の力を借りて、中学校の先生と共に、夏、冬休みの宿題を中心に勉強会を試みました。これは、中学校との連携の一つの具体的やりかたとして、今後につながる成果と考えます。
- こどもの城の庭を使っての外遊びのイベントを初めて実施でき、今後の活動を企画するにあたっての大きな自信となりました。その成果としては、次の三つがあげられます。
  - 大東文化大学の学生のみなさんの参加協力が得られた。
  - 金銭的にごく低額(2400円)での活動ができた。
  - 例年の“ある、ある、探検隊”の活動では、“せんべい焼”などの人気のある企画を加えていたが、今回は、純粋に外遊びの活動のみで、子どもたちのたくさんの参加を得られた。
- 通常のサポート委員会は毎回土曜日の午後と決めて開催していた。しかし、男性方と女性方の生活パターンの違い等から、全員がそろって、会議を開くのが大変難しく、曜日や時間を変えたりなどの試行錯誤した結果、夜の時間での開催が一番出席率が良いことが分かり、今後の貴重な参考となった。

### 【課題】

子どもたちのニーズを探しながら、同時にサポート委員に協力の頂ける、新しい活動分野へ踏み込み、より多くの子どもたちに喜んでもらえるサポート活動に結び付けることが今年ではできました。しかし、より多くの子どもたちに楽しんでいただくには、“サポート委員の不足”を痛感しております。

この悩みを解消するため、来年度は、『仲間づくり』の活動を具体的に、次の点で押し進めていきたい。

- 今年協力いただいた大学生、“M4グループ”ジュニアリーダとの協力活動によるイベントの実施。
- 料理教室では、参加される子どもたちと共に、その保護者の方にも協力参加をいただく。
- 『子どもサポートなかま』と活動情報の共有化をさらに図り、より多くの活動への協力参加を願う。

四月

五月

六月

七月

八月

九月

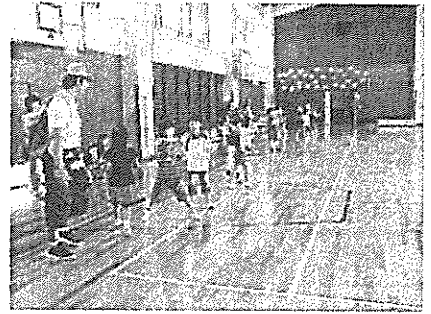
十月

十二月



スーパージャンまつり

体育館で  
マイスーパージャンを飛ばす



夏休みの  
勉強会

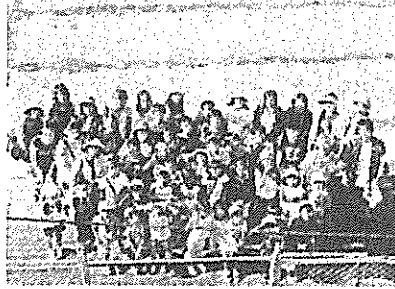
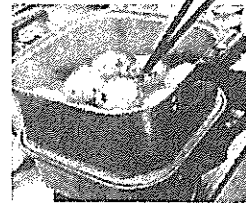
蒸しパン

《第1弾》

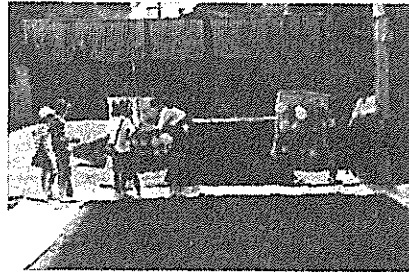
ルシアン  
クッキー



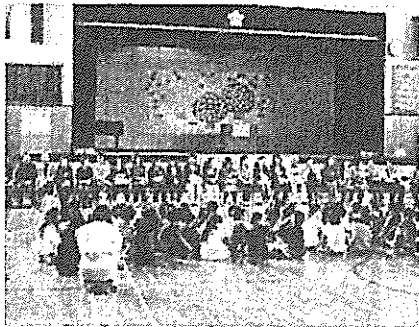
中の  
試食パーティー



くまの祭 (川越西)

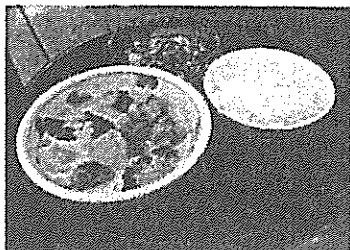


紫雲祭 (川越女子高)



一年生と高学年の会

お手玉で  
遊ぶ



《第2弾》  
スープカレー、  
サラダ、ごぼん



ちゃんぽんパーティー

十二月

一月

二月

三月



← 広報紙第一号  
の発行

《第3弾》

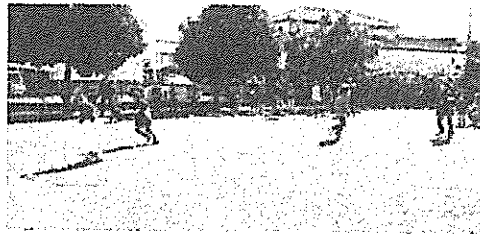
ミートソース スパゲティ  
クラシックショコラ



楽しい どんけい



ひろばであそぼう (こどもの城)  
《じゃんけん ダッシュ》



広報紙第二号 の発行



参加協力いただいた  
大東文化大学児童文化研究部の学生さんたち

## 大東地区 地域子どもサポート委員会の活動紹介

1 はじめに	<p>&lt;地域の紹介&gt; 私たちの大東地区は、川越市の南西部に位置し、世帯数13,000余り。工業団地、西武新宿線南大塚駅、関越高速川越インターがあり川越の工業・交通の中心でもある。その反面、地区の6割近く田畑が広がり、緑の多い地域でもあります。</p>	
2 事業のねらい	<p>大東地区では、目標をわかりやすくするため、「生きる力」を3つの心「やさしい心・ルールを守る心・一生懸命取り組む心」に置き換え、それらを育むため、家庭(自助)—地域(互助)—学校・公民館(公助)の子育てトライアングル運動を展開しながら、子どもたちが「あそび」から学ぶことをサポートすることを目的とする。</p>	
3 サポート 委員会 組織構成	<p>&lt;支援協力団体、順不同&gt; 自治会、民生児童委員協議会、交通安全協会、交通安全母の会、大東地区小・中学校PTA・子ども会育成団体連絡協議会、川越南高校、青少年を育てる大東地区会議、文化振興会、体育振興会、老人クラブ連合会、かわごえ環境推進員、大東・大東南公民館登録グループ連絡会、和道文化クラブ、たまり場小江戸せきれい亭、尚美学園大学、おもしろ実験室、夢創作隊、南大塚瑞穂会、しらこぼと、大東地区ボランティア活動促進会、人材バンク</p>	
委 員 3 4 名	協 力 員 1 5 名	<p>武蔵野小学校、大東西小学校、大東東小学校、大東中学校、大東西中学校(校長・教諭)、大東・大東南公民館職員(館長・職員)</p>
4 活動内容		
① 主要な事業		
月日(曜)	実 施 事 業	内 容 (参加人数)
6月	情報誌「大東ねっと13号」発行	・子ども記者募集・スポーツクラブ紹介
6月9日(火)	交流会：大東東小区地区協	
6月19日(金)	交流会：武蔵野小区地区協	
6月24日(水)	交流会：大東西小区地区協	
6月27日(土)	みんなの広場「七夕飾り」	・大東南公民館ロビーへ七夕の飾りつけ(26人)
6月28日(日)	ゆかたの着付け無料講習会	・帯結びからゆかたのたたみ方など
6/15~7/15	学校支援：武蔵野小学校	・ボランティアによる清掃指導
7月5日(日)	地域支援：寿町一丁目自治会	・子どもみこし祭り
7月25日(土)	地域支援：白梅西子ども会	・向ヶ丘自治会納涼大会
8月8日(土)	みんなの広場「伝承遊び」	・竹馬、竹とんぼ、水鉄砲、缶ポックリ(27人)
9月12日(土)	子どもフェスティバル	・会場：大東中学校(来場者314人うち小中学生229人)
10月17日(土)	川越南高等学校文化祭見学会	・川越南高校生の案内で実施 (9人)
10月	情報誌「大東ねっと14号」発行	・学校自慢・スポーツクラブ紹介
11月1日(日)	地域支援：寿町一丁目自治会	・文化祭
11月14日(土)	ふれあいコンサート	・会場：大東西中学校(来場者174人うち小中学生23人)
1月9日(土)	みんなの広場「新春カルタ会」	・会場：大東南公民館 (23人)
1月17日(日)	地域支援：あすなろ子ども会	・新年会
1月22日(金)	講演会 演題「子どもキラキラ “親職”とその生き甲斐」	・会場：大東公民館 (97人) 講師：松尾鉄城 先生

2月 2月13日(土)	情報誌「大東ねっと15号」発行 「川越・地域子どもサポート推進 事業」実践報告会	・学校自慢・スポーツクラブ紹介
3月6日(土)	地域支援：なでしこ子ども会	・歓送迎会

\*子ども囲碁・将棋教室(毎月2回第2、第4日曜)を大東・大東南公民館で交互に開催

## ② サポート委員会開催状況

月日(曜)	会議名	内容	参加人数
5月1日(金)	第1回サポート委員会	・20年度報告決算、21年度計画予算他	29
8月25日(火)	第2回サポート委員会	・子どもフェスティバルについて他	37
10月29日(木)	第3回サポート委員会	・ふれあいコンサートについて他	23
1月27日(水)	第4回サポート委員会	・本年度の反省、次年度にむけて	21

\*その他 各部会・役員会議開催

## 5 地域人材について 登録分野・支援場面等

登録分野	<p>【学習】郷土研究、天気、パソコンの使い方、電気、野鳥、飛行機、編み物、英会話、書道、料理、育児相談、人権教育、環境教育、介護、音楽</p> <p>【体験】木工クラフト、流木クラフト、ストーンペイント、トコロテン作り、塩作り</p> <p>【スポーツ・レク】サッカー、少林寺拳法、ネイチャーゲーム、マジック、子どもの遊び、キャンプ</p> <p style="text-align: right;">計 40人</p>
支援場面	<p>【自治会・育成会】1自治会、3育成会で実施</p> <p>【公民館】おもしろ実験室、家庭教育講座、みんなの広場、友遊クラブ、健康ウォーク、子育てサロン</p> <p>【その他】大東地区子どもフェスティバルボランティア</p>

## 6 成果と課題

### ◎成果

- 1 地域にコミュニティの輪の広がり
  - ・各種団体の参加による大人同士の交流の機会となる
  - ・個々に活動していたボランティアグループ同士の交流の場ができる
- 2 新たなボランティアの開発
  - ・フェスティバルに大勢の中学生ボランティアが参加
  - ・子ども対象で気軽にボランティア活動に参加できるきっかけづくりとなった

### ◎課題

サポートを必要としている(フェスティバルなどの催しに参加できない)子ども達が参加できる環境づくりが必要

- 1 子どもたちの参加機会を拡大する
- 2 参加範囲を小さくする
- 3 保護者への啓発を図る

☆☆大東地区地域子どもサポート委員会ホームページ☆☆

[http://space.geocities.jp/daitou\\_kodomo/](http://space.geocities.jp/daitou_kodomo/)



交流会



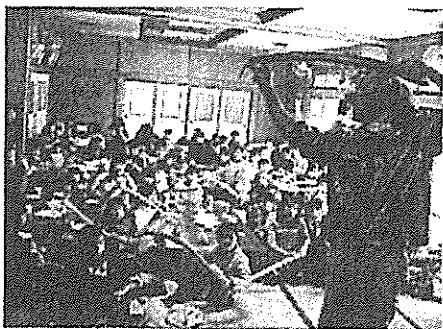
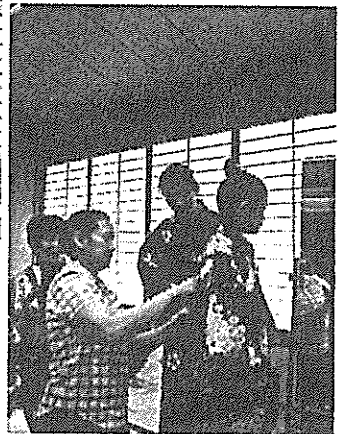
七夕飾り



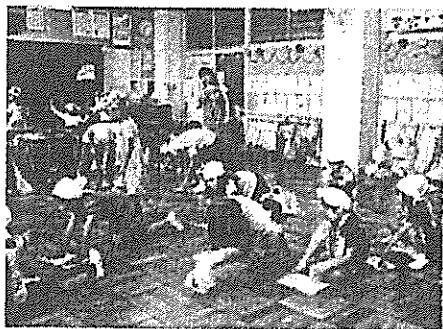
寿町一丁目自治会



ゆかた着付け



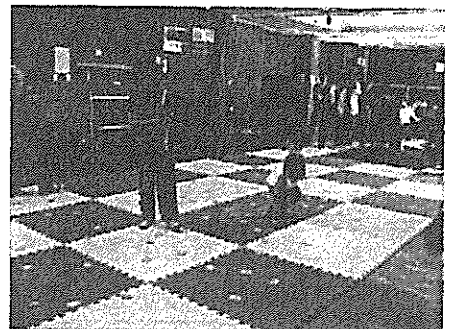
あすなろ子ども会



武蔵野小



伝承遊び



新春かるた大会



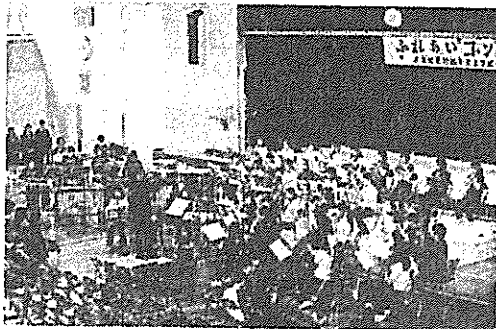
藤華祭



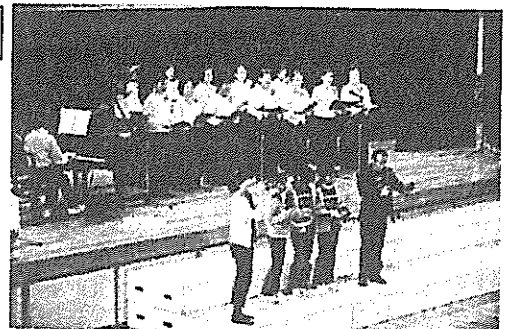
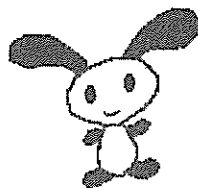
子どもフェスティバル



講演会



ふれあいコンサート



## 霞ヶ関北地区 地域子どもサポート委員会の活動紹介

1 はじめに	<p>地域の紹介（サポート委員会の活動を踏まえて）</p> <p>当地域は入間川と小畔川に挟まれた場所にあり、人口は約18,000人、子どもサポート推進地区14のうち一番小さなエリアである。</p> <p>的場地区には古代の遺跡、古墳もあり、大変歴史ある地域であるが、一方で霞ヶ関北、霞ヶ関東、伊勢原の各地区は大規模な住宅団地になっている。住宅団地の中には約50年前に開発された団地もあるため、少子高齢化が進んでいる。</p> <p>地域内には霞ヶ関北小学校、霞ヶ関東小学校、霞ヶ関東中学校があり、児童生徒数は約1,600人である。</p> <p>また、社会教育施設として、霞ヶ関北には、東京国際大学、公民館、伊勢原には公民館と西図書館があり、文教地区として川越では大変恵まれた地域になっている。</p>		
2 事業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と公民館、図書館、学校が連携し、地域の子どもの「生きる力を育む」活動を推進する。</li> <li>・地域内のネットワークを充実し、住民間のコミュニティの活発化を図る。</li> <li>・学校支援ボランティアの人材発掘と育成推進に努める。</li> <li>・学校応援団組織を活用し、学校における学習支援を充実する。</li> </ul>		
3 サポート 委員会 組織構成	委員 25名	伊勢原・霞ヶ関北公民館登録グループ、小中学校PTA関係者、小江戸塾卒業生、学習支援ボランティア、民生委員児童委員協議会、公募	
	協力員 11名	霞ヶ関北小学校、霞ヶ関東小学校、霞ヶ関東中学校、霞ヶ関北公民館・伊勢原公民館、川越西図書館 (校長・教諭・館長・副館長等)	
4 活動内容	① 主要な事業		
月日(曜)	実施事業	内 容 (参加人数)	
◎【霞ヶ関北小学校応援団部会】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月、9月～10月 家庭科ミシンボランティア ボランティア延人数179名</li> <li>・6月から毎週開催 昔あそびクラブ</li> <li>・22年1月～3月予定 心のふれあい探偵団・社会科昔のくらし道具・昔あそびクラブ・研究発表時の教室見守り・朝の挨拶運動(火・木)・生活科凧揚げ支援 他</li> </ul>			
◎【霞ヶ関東小学校応援団部会】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月15日(水) 学校菜園の手入れ</li> <li>・4月22日(水) ジャガイモ植え、収穫試食会</li> <li>・4月23日(木) 入間川の探検</li> <li>・4月30日(木) カブトムシの幼虫引っ越し・観察</li> <li>・5月20日(水) 川越の街並み探検</li> <li>・6月9日(火) レッツサーチ入間川</li> <li>・6月17日(水) 学校地域調べ</li> <li>・7月9日(木) 学校地域調べ 発表会</li> <li>・6月～3月 水辺の自然体験楽校 全10回</li> </ul>			



- ・ 9月～10月 家庭科ミシンボランティア ボランティア延人数65名
- ・ 毎週火曜日 太陽ふれあい広場(学校応援団室)・通年で実施 学校ビオトープ整備活動
- ・ 22年1月～3月 社会科昔のくらし博物館見学見守り・ソロバン体験学習支援  
カブトムシ小屋落葉入替え・水辺の自然体験楽校サケの放流  
水族館見学付添・朝の挨拶運動(月・水・金) 他

◎【霞ヶ関東中学校応援団部会】

- ・ 7月17日(金) 入間川水生生物調査 ※「水辺の自然体験楽校」と共催
- ・ 9月11日(金) 地域ふれあい体験講座支援 16講座開設
- ・ 11月21日(土) 子どもフェスティバルの3ブースに参加
- ・ 学校応援団室設置 ・ミニコンサート開催支援 他

◎地域の特色を生かした事業部会

- ・ 11月21日(土) 子どもフェスティバル開催 会場：霞ヶ関東小学校 全15ブース  
参加者200人
- ・ 実践報告会発表資料づくり

◎公民館、図書館支援部会

- ・ 7月～8月 中学生レクリエーションリーダー養成講座 7名養成
- ・ 7月～8月 夏休み自由研究課題学習室 延べ10日間
- ・ 霞北ジュニアレクリエータークラブ結成
- ・ 11月7日(土) 優嶋祭(霞ヶ関北小学校・伊勢原公民館・西図書館合同文化祭)ブース設置
- ・ 地域の子どもと楽しむ健康レクゲーム体験
- ・ 地域学校ボランティア募集 公民館だより 2/25号掲載
- ・ 3月28日(日) 子育てレクゲーム体験講座 レクゲームで子どもたちに機敏な発想を培ってもらう

◎広報部会

- ・ 子どもネット 11号発刊 9月・12号発刊 12月・13号発刊
- ・ 子どもネット(カラー拡大版)を公民館展示パネルに掲示

② サポート委員会開催状況

月日(曜)	会議名	内容	参加人数
4月22日(水)	第1回子どもサポート委員会	20年度実施結果概要	28人
6月24日(水)	第2回子どもサポート委員会	21年度運営委員体制について 他 委員、協力員体制について	29人
9月16日(水)	第3回子どもサポート委員会	学校応援団予算、要望物品について 各部会の活動状況報告、今後の計画	26人
11月10日(火)	第4回子どもサポート委員会	サンデー水辺の自然体験楽校について 各部会の活動状況報告、今後の計画	23人
2月3日(水)	第5回子どもサポート委員会	サンデー水辺の自然体験楽校経過報告 各部会の活動状況報告、今後の計画	24人
その他部会長連絡会等		実践報告会発表準備について	

5 地域人材について 登録分野・支援場面等	
登録分野	戦争体験の話、囲碁・将棋、洋裁、手芸、料理、ミシンの使い方、紙芝居、本の読み聞かせ、英会話、書道、茶道、華道、着物着付け、民族舞踊、韓国語、野菜の育て方、水質測定、俳句、バルーンアート、ジャグリング、皿回し、マジック、大正琴、ピオトーフ整備・管理、民話の語り、レクリエーションコーディネート、車運転、校外学習付添 他 計 97人
支援場面	学校応援団部会活動、川越の街並探検、ゴミゴミ探偵団、ミシン学習、学校ピオトーフ再生事業、夏休み自由研究課題学習室、水辺の自然体験楽校、水質調査活動、霞ヶ関東中地域ふれあい体験講座、霞ヶ関東小総合学習、遠足付添、霞ヶ関北小ふれあい学習、教室見守り、子どもフェスティバル、公民館主催講座支援 他 計 518人

6 成果と課題

◎成果

霞ヶ関北地区地域子どもサポートも平成16年度に発足して、早6年経ちました。当初は、地域の方々に子どもサポートをPRする目的で、子どもフェスティバルを開催することが主でした。しかし平成18年度あたりから、子どもサポート登録ボランティアを活用した学校(学習)支援に事業がシフトしてきました。

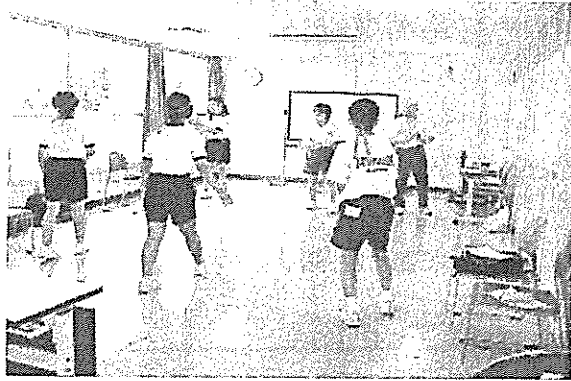
平成20年度には他の地区に先駆けて、地域内小、中学校に学校応援団部会を設置し、各学校から依頼される学習支援にボランティアが対応できるようになりました。

特に今年度は「プラス新しい活動を・・・模索する・・・」をテーマとして、新たな活動を実施しました。まずは、中学生レクリエーションリーダー養成講座です。夏休み中に4回の日程で実技学習を主体に行いました。また、毎年開催されている霞ヶ関北小、伊勢原公民館、西図書館の3館合同文化祭の公民館・図書館ブースの一部や小学校体育館で行われた映画会の映写を、登録ボランティアや前述の中学生レクリエーションリーダー養成講座に参加した中学生が担当しました。

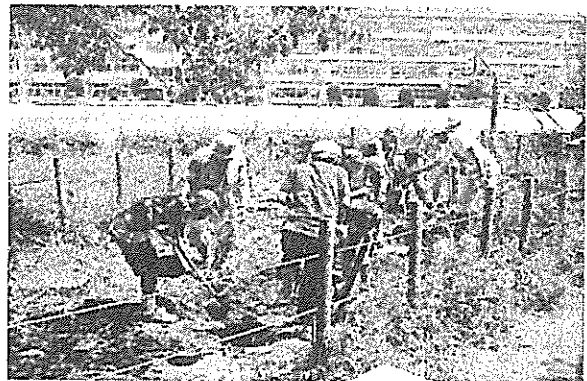
小中学校には学校応援団室を設置し、児童生徒と登録ボランティアがふれ合う機会を設けるようにしています。これらのことによって、地域の大人と子どものコミュニケーションがより緊密になり、さらには子どもたちの見守りにもつながり、安全、安心のまちづくりに微力ながら役立っていると自負しています。

◎課題

- ・各学校から要請される様々な分野の学校支援に応えられるボランティアの充実や、ボランティアのレベルアップを図るための方法。
- ・サポート委員に子どもサポート活動におけるモチベーションを維持してもらうための方法。
- ・子どもフェスティバルの実施時期・方法の見直し



【レクリエーションリーダー養成講座】



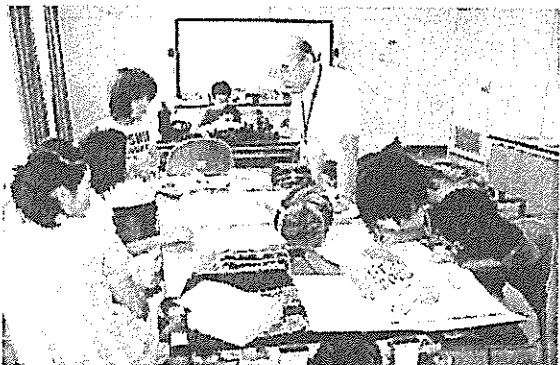
【霞ヶ関東小学校ビオトープ管理支援】



【霞ヶ関東中学校地域ふれあい体験講座  
浴衣の着付け】



【霞ヶ関北小学校ミシンボランティア】



【夏休み自由研究・課題学習室】



【霞ヶ関東小学校校外学習付添支援】



【子どもフェスティバル/太鼓演奏】



【子どもフェスティバル/フォークダンス】

## 中央南地区 地域子どもサポート委員会の活動紹介

<b>1</b> はじめに	<p>中央南地区は、川越市街地南部の、主に川越駅・川越市駅の東上線以南地域で、駅周辺の商業地域から、住宅地域、豊かな田園風景が残る郊外地域など、多様な様相を有する地域である。</p> <p>地域子どもサポート委員会の活動としては、地域内にある新宿小・泉小・大塚小・野田中・城南中に対して、地域の住民による学校支援を行っている。</p>		
<b>2</b> 事業のねらい	<p>○子どもたちの生きる力を育むため、地域・学校・家庭・社会教育施設が連携して、子どもたちの人間性や社会性を身につける活動を支援する。</p> <p>○地域の住民がボランティアとして学校に関わることにより、地域に目を向け、地域ぐるみで子どもたちを育てようという意識の醸成に寄与する。</p>		
<b>3</b> サポート 委員会 組織構成	委員 32名	<p>○新宿小・大塚小・泉小・野田中・城南中 各PTA会長 ○自治会連合会第3支会 支会長 ○第3・9・11青少年を育てる地区会議 各会長 ○新宿小校区体育指導委員 ○大塚小・泉小校区スポーツ振興連絡協議会 各会長 ○南公民館登録グループ連絡会 会長</p> <p>○老人クラブ連合会第11支部 支部長 ○新宿小・大塚小・泉小・野田中・城南中 各職員 ○川越駅東口図書館・南公民館 各職員</p>	
<b>4</b> 活動内容	① 主要な事業		
月日 (曜)	実施事業	内 容 (参加人数)	
別紙「学校支援一覧」のとおり			
② サポート委員会開催状況			
月日 (曜)	会 議 名	内 容	参加人数
6月17日 (水)	第1回サポート委員会	役員選出、事業計画、部会	28人
7月14日 (火)	第2回サポート委員会	会則一部改正、事業計画、部会	29人
8月24日 (月)	第3回サポート委員会	事業計画、人材バンク登録、部会	29人
9月28日 (月)	第4回サポート委員会	学校支援、部会	23人
10月28日 (水)	第5回サポート委員会	学校支援、部会	21人
11月25日 (水)	第6回サポート委員会	学校支援、部会	22人
12月16日 (水)	第7回サポート委員会	学校支援、部会	24人
1月27日 (水)	第8回サポート委員会	実践報告会、部会	22人
2月24日 (水)	第9回サポート委員会	事業の課題	21人
3月17日 (水)	第10回サポート委員会	会計監査報告、来年度委員会体制	24人
.....	.....	.....	.....
5月8日 (金)	第1回正副委員長会議	第1回サポート委員会	5人
5月20日 (木)	第2回正副委員長会議	第1回サポート委員会	5人

6月26日(金)	第3回正副委員長会議	事業計画	5人
7月10日(金)	第4回正副委員長会議	事業計画	5人
7月28日(火)	第5回正副委員長会議	事業計画	5人
8月19日(金)	第6回正副委員長会議	事業計画	5人
9月17日(木)	第7回正副委員長会議	学校支援	6人
3月9日(火)	第8回正副委員長会議	委員会体制	5人

### 5 地域人材について 登録分野・支援場面等

登録分野	昔の遊び、ミシンの使い方、調理実習、裁縫実習、樹木の剪定、ペンキ塗り、戦争体験の話、校舎修繕、除草活動、本の読み聞かせ	計 34人
支援場面	校舎修繕、樹木刈込、ミシン操作の指導補助、調理実習補助、ゆかたの手縫い補助、戦争体験講話、昔の遊び、ロードレース大会交通整理	計279人

### 6 成果と課題

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数…33回</li> <li>・ボランティア参加団体…17団体</li> <li>・参加のべ人数…279名</li> <li>・地域の住民が子どもたちと向き合いながら、きめ細やかな授業を支援することができた。</li> <li>・地域の住民が、これまで培ってきた知識や技術を生かすことができた。</li> <li>・地域の住民の体験を聞くことによって、子どもたちが社会や歴史を考える機会となった。</li> <li>・子どもたちと地域の住民がふれあうなかで、子どもたちの人間性や社会性の向上と、子どもたちを地域ぐるみで育てようという住民の意識の向上を図ることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の高齢化や地域が広いと、ボランティアの確保が難しい。</li> <li>・ボランティアとして参加する地域の住民が負担する交通費に対して補助手段がない。</li> <li>・ボランティアとして参加する地域の住民を送迎するサポート委員会の負担が大きい。</li> </ul>
---

平成21年度 中央南地区 地域子どもサポート委員会 学校支援一覧

No.	月日	時間	学校	学年	場所	内容	ボランティア参加数	サポート委員会参加数
1	8月28日(金)	9:00~12:00	城南中	5年	校舎、敷地	校舎修繕、樹木刈込	-	9
2	9月17日(木)	8:30~10:10	大塚小		家庭科室	ミシン操作の指導補助	4	2
3		10:30~12:10	大塚小	家庭科室	ミシン操作の指導補助	4	1	
4	9月24日(木)	8:30~10:10	大塚小	家庭科室	ミシン操作の指導補助	4	1	
5		10:30~12:10	大塚小	家庭科室	ミシン操作の指導補助	4	1	
6	9月25日(金)	8:50~10:40	城南中	1年	調理室	調理(けんちん汁)	5	4
7	9月29日(火)	9:35~11:25	大塚小	6年	家庭科室	ミシン操作の支援・ナップザック製作	7	1
8	10月1日(木)	13:40~15:30	城南中	1年	調理室	調理(けんちん汁)	6	2
9	10月2日(金)	9:35~11:25	大塚小	6年	家庭科室	ミシン操作の支援・ナップザック製作	6	2
10	10月5日(月)	10:50~12:40	城南中	1年	調理室	調理(ムニエル)	5	2
11	10月6日(火)	10:45~12:25	泉小	5年	家庭科室	ミシン実習補助	6	3
12		10:45~11:35	野田中	3年	家庭科室	ゆかたの手縫い補助	4	2
13	10月7日(水)	10:45~12:25	泉小	5年	家庭科室	ミシン実習補助	6	3
14		8:40~10:20	大塚小	5年	家庭科室	ミシン操作の指導補助	4	1
15		10:40~12:20	大塚小	5年	家庭科室	ミシン操作の指導補助	4	2
16	10月9日(金)	10:45~11:35	野田中	3年	家庭科室	ゆかたの手縫い補助	4	1
17	10月13日(火)	10:45~12:25	泉小	5年	家庭科室	ミシン実習補助	6	2
18		10:45~11:35	野田中	3年	家庭科室	ゆかたの手縫い補助	3	2
19	10月14日(水)	10:45~12:25	泉小	5年	家庭科室	ミシン実習補助	5	2
20		8:40~10:20	大塚小	5年	家庭科室	ミシン操作の指導補助	6	1
21		10:40~12:20	大塚小	5年	家庭科室	ミシン操作の指導補助	6	1
22	10月15日(木)	10:25~12:25	泉小	5年	家庭科室	ミシン実習補助	6	1
23	10月16日(金)	9:50~11:40	城南中	1年	調理室	調理(ムニエル)	5	1
24		13:40~15:30	城南中	1年	調理室	調理(けんちん汁)	6	2
25	10月23日(金)	10:45~11:35	野田中	3年	家庭科室	ゆかたの手縫い補助	3	2
26	11月6日(金)	13:50~14:35	泉小	6年	視聴覚室	戦争体験講話	1	5
27	11月7日(土)	13:00~15:00	新宿小	PTA	体育館、教室、校庭、子ども広場	くすのきフェスティバル 凧製作支援、竹とんぼ遊び支援	4	5
28	11月13日(金)	9:30~	城南中	全学年	学区~水上公園 交差点	ロードレース大会交通整理	7	1
29	1月18日(月)	10:35~12:15	野田中	1年	家庭科室	調理実習(ハンバーグ)	3	1
30	1月19日(火)	9:40~11:30	泉小	1年	体育館	昔の遊び体験	16	10
31	1月20日(水)	10:45~12:35	野田中	1年	家庭科室	調理実習(ハンバーグ)	3	1
32	1月21日(木)	10:45~12:35	野田中	1年	家庭科室	調理実習(ハンバーグ)	3	2
33	1月27日(水)	9:35~11:40	新宿小	1年	体育館	むかし遊びをおそわろう	38	9
							194	85

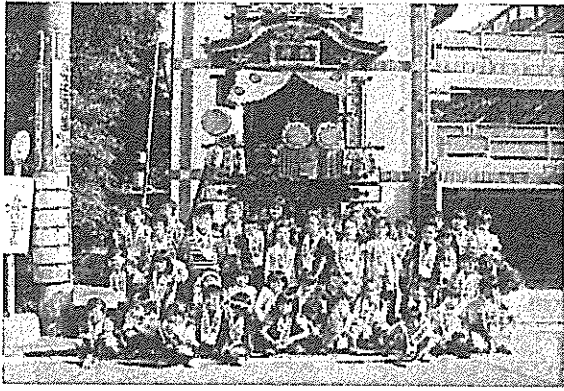
## 福原地区 地域子どもサポート委員会の活動

1 はじめに	地域の紹介 福原地区は、川越市の南部に位置し、面積12.08km <sup>2</sup> 、23自治会で、1月1日現在の世帯数は7,377世帯、人口は19,758人で増加傾向にある。また、地域の西側が農業地域、東側が住宅地になっている。		
2 事業のねらい	子どもたちの「生きる力」を育むため、地域社会が「地域子どもサポート事業」を理解して家庭・学校・社会教育施設と連携・協力をして子どもたちの活動を支援する。		
3 サポート 委員会 組織構成	委員 20名	青少年を育てる福原地区会議、福原地区民生児童委員、福原地区体育協力員連絡協議会、福原小学校育成会・PTA、福原中学校育成会・PTA、一般	
	協力員 7名	福原小学校・中学校(校長・教務主任)、福原公民館(館長・職員)	
4 活動内容			
	① 主要な事業		
月日(曜)	実施事業	内 容	
6月25日(木) 7月～ 第1、第3(水) 9月25日(金)	学校支援 地域でのあいさつ・声かけ運動	福原小学校ファームにサツマの苗植え 福原小学校・中学校正門前	
10月10日(土) 10月18日(日)	ふくはら子どもねっと発行 川越まつりで山車を曳こう	(第12号)21年度の事業案内、地域全体であいさつ、声かけ運動を! (第13号)こどもまつりへの参加募集 六軒町の山車を曳く	
11月14日(土) 11月16日(月)	こどもまつり 学校支援	ジュニアリーダーと遊ぼう・いも煮会 芋掘り	
12月25日(金) 1月14日(木)	ふくはらこどもねっと発行 学校支援	(第14号)こどもまつりの報告、あいさつの輪を広げよう! 地割会議(福原小学校ファーム)	
3月25日(木)	ふくはらこどもねっと発行	(第15号)21年度の事業報告等	
	② サポート委員会開催状況		
月日(曜)	会 議 名	内 容	参加人数
6月23日(火)	第1回サポート委員会	委員長等の選出・事業計画の検討	24人
9月17日(木)	第2回サポート委員会	21年度の事業計画について	19人
11月 6日(金)	第3回サポート委員会	「こどもまつり」について	15人
1月29日(金)	第4回サポート委員会	実践報告等について	16人
2月13日(土)	実践報告会	実践報告会に出席	9人
3月17日(水)	第5回サポート委員会	21年度事業の成果と課題について	19人

5 地域人材について 登録分野・支援場面等	
登録分野	未実施
	計 人
支援場面	21年度サポート委員会事業の重点となっている学校支援事業として、サポート委員の協力により福原小学校ファームにさつま芋・大根・人参・里芋の苗を植え、こどもまつりで芋掘りを計画したが、雨天で芋掘りが出来なかったため、後日参加者に配布した。
	計 20 人
6 成果と課題	
<p>福原地区地域子どもサポート委員会では、事業のねらいに基づき、体験活動(川越まつりの山車曳き、こどもまつり)とふれあい活動(いも煮会、地域でのあいさつ・声かけ運動)を実施した。</p> <p>また、サポート委員会事業の重点となっている学校支援事業(学習の支援事業)も実施した。</p> <p>10月18日(日)の「川越まつりの山車曳き」では、学校を通し「川越まつりで山車を曳こう」のお知らせを配布し、参加者を募集した。当日、多くの子どもたち(91人)が参加して、まつりを体験し、伝統行事のおもしろさや礼儀・きまりなどを知ることができたと思う。</p> <p>11月14日(土)の「こどもまつり」では、グラウンドゴルフ大会(小学校3年生～6年生)と芋掘り大会(小学校1年生～2年生)を実施する予定であったが、雨天のため実施できなかったため、同日小学校体育館にて「ジュニアリーダーと遊ぼう」と「いも煮会」を実施した。「ジュニアリーダーと遊ぼう」では、ジュニアリーダーの進行のもと、参加者と中学生サポーターと一緒にゲームをして楽しく過ごした。その後の「いも煮会」では、サポート委員が育てた人参・大根・里芋でいも煮を作り、参加者は和気あいあいと美味しそうに食べていた。「こどもまつり」への参加は、子ども達と地域・学校とのつながりに成果があったと思う。</p> <p>また、11月16日(月)にサポート委員の呼びかけで芋掘りを行い、参加者(芋掘り46人・グラウンドゴルフ37人)・協力者に配布した。地域社会にサポート委員会を周知する目的で、野菜の一部を公民館利用者にも持って帰ってもらい、好評を得た。</p> <p>「地域でのあいさつ・声かけ運動の推進」では、7月から第1・第3水曜日の朝、福原小学校・福原中学校の正門前で、子どもサポート委員が児童・生徒の登校時間にあいさつ・声かけ運動を実施した。初めて出会う子どもたちと明るいあいさつを交わし、コミュニケーションを図ることができたと思う。</p> <p>「学校支援事業」としては、6月25日(木)に子どもサポート委員の協力により小学校ファームにサツマの苗を植えた。11月16日(月)に芋掘りをして、「こどもまつり」の参加者・協力者に配布した。次年度以降は、ファームを利用した農業体験学習においても支援を実施していくことが必要と考える。</p> <p>今後、さらに地域に根ざした子どもサポート事業を推進していくためには、地域社会に「地域子どもサポート委員会」を深く理解してもらい、家庭・学校・社会教育施設と連携・協力して、多くの人たちが、学校や子どもたちと関わられるような取組をすることが大切であるとともに、地域の特色を生かした継続可能な内容を検討していくことも課題である。</p>	



【体験活動】



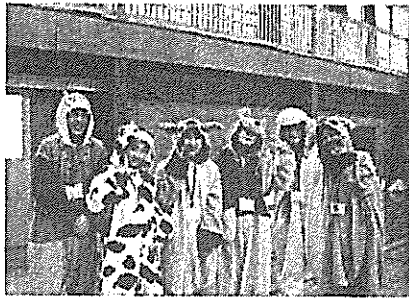
川越まつり(六軒町の山車「三番叟」、全員)

【体験活動】



こどもまつり参加者全員

【体験活動】



【体験活動】



【体験活動】



こどもまつり(ジュニアリーダーと遊ぼう)

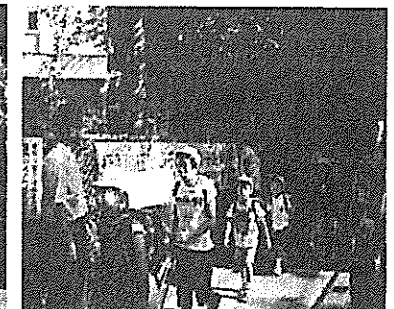
【いも煮会】



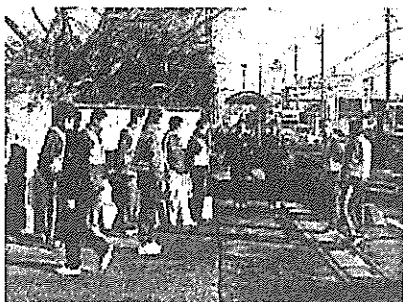
【いも煮会】



【あいさつ・声かけ運動】

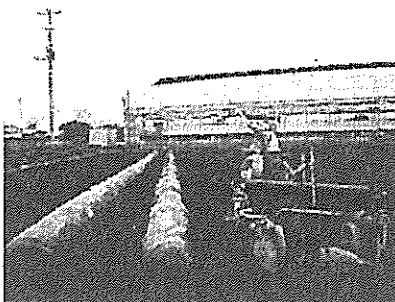


【あいさつ・声かけ運動】



福原中学校正門前

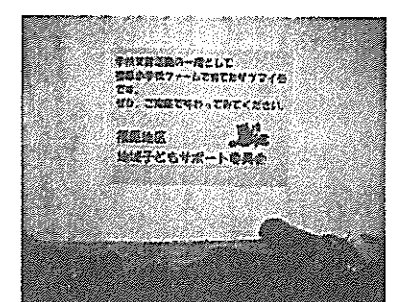
【学校支援】



福原小学校ファーム苗植え

福原小学校正門前

【学校支援】



サツマイモの配布

## 南古谷地区 地域子どもサポート委員会の活動紹介

1 はじめに	<p>地域の紹介 南古谷は川越市の南東部に位置し、さいたま市、富士見市、ふじみ野市に隣接している、人口 22,360 人、8,435 世帯(平成 22 年 1 月 1 日現在)の地域である。南古谷駅を中心に住宅地が広がり、特に最近ではショッピングセンターやマンションの建設で、人口の増加率は川越市内でも一番であるといえる。とはいえ、地域にはまだまだ多くの水田が残り、春には早苗が目に見え、秋には黄金色の稲穂に埋め尽くされ、四季折々の姿を見せている。</p>	
2 事業のねらい	<p>○学校、社会教育施設、地域社会が連携・協力を深め、一体となって、子どもたちに豊かな学習機会や体験活動を通じた青少年の健全な育成。 ○たくましく生きるための、充実した子どもたちの活動をサポートすること</p>	
3 サポート 委員会 組織構成	委員 56名	<p>自治会長会、南古谷地区民生・児童委員協議会、青少年を育てる南古谷地区会議、交通安全協会南古谷支部、南古谷スポーツ振興会、南古谷寿老会連合会、南古谷身体障害者福祉会、保健推進員、南古谷中PTA、南古谷小PTA、牛子小PTA、南古谷小校区育成会、牛子小校区育成会、公民館登録グループ連絡協議会、交通安全母の会南古谷支部、ユースリーダー、ボランティア</p>
	協力員 16名	<p>南古谷小学校、牛子小学校、南古谷中学校(校長・教諭)、南古谷公民館(館長・職員) 後援校：砂中学校、東中学校</p>
	事業ボランティア 5名	公募
4 活動内容		
① 主要な事業		
月日(曜)	実施事業	内 容 (参加人数)
7月13日(月) 10月6日(火) 3月	<p>第4回南古谷地区子どもサミット 第5回南古谷地区子どもサミット 小・中学校卒業生へ赤飯の贈呈</p>	<p>小・中学校の児童・生徒会役員による会議 " 農業体験で収穫したモチ米で赤飯を作り贈呈</p>
通年 3月14日(日)	<p>【学校・公民館支援部会】 学習支援ボランティアの募集 学習支援ボランティア研修会</p>	<p>講演「子どものこころを育てる音楽療法」 講師：東邦音楽大学 准教授 二俣泉氏 参加者：60名</p>
6月発行 10月発行 1月発行 3月発行予定	<p>【地域啓発・広報部会】 広報紙「ときめき情報局」第15号 広報紙「ときめき情報局」第16号 広報紙「ときめき情報局」第17号 広報紙「ときめき情報局」第18号</p>	<p>田植え、お米の話、ホタル観賞会ほか 子どもサミット、学校支援コーディネーター ニューイヤーコンサート</p>
	<p>【地域の特色等を生かした事業部会】</p>	

5月23日(土)	農業体験「田植え」	木野目神社付近たんぼ 参加者197名
9月19日(土)	農業体験「稲刈り」	木野目神社付近たんぼ 参加者156名
10月10日(土)	農業体験「脱穀・粃摺り」	木野目神社付近たんぼ 参加者72名
6月19日(金)	親子でホテル観賞会	渋谷造園土木 参加者294名
20日(土)	〃	〃 参加者314名
7月18日(土)	かかしまつり	南古谷中学校・東部ふれあいセンター付近 かかし31体
	【南古谷ウインド・オーケストラ】	
4月29日(水)	東邦祭で演奏	東邦音楽大学
11月3日(火)	全国生涯学習フェスティバル (まなびピア埼玉2009)で演奏	さいたま新都心けやき広場特設ステージ
1月10日(日)	ニューイヤーコンサート in 南古谷 で演奏	東邦音楽大学
通年	月(2~4回)土曜日に練習	東邦音楽大学
	【後援事業】	
8月7日(金) ~8日(土)	第6回ネイチャー・ステイ	妙高高原 参加者22名・役員10名
8月28日(金) ~29日(土)	子ども防災キャンプ	牛子小学校 参加者70名・役員63名
1月10日(日)	ニューイヤーコンサート in 南古谷	東邦音楽大学 参加19団体

② サポート委員会開催状況

月日(曜)	会議名	内容	参加人数
6月2日(火)	第1回サポート委員会	21年度役員について	56名
7月8日(水)	第2回サポート委員会	21年度事業について 子どもサミットについて かかしまつりについて	41名
8月27日(木)	第3回サポート委員会	農業体験「稲刈り」について 子どもサミットについて	48名
9月17日(木)	第4回サポート委員会	子ども文化祭について 子どもサミットについて	42名
10月7日(水)	第5回サポート委員会	農業体験「脱穀・粃摺り」について 子ども文化祭について	44名
10月24日(土)	子ども文化祭全体役員会	内容、準備、役割分担等の打合せ	47名
12月4日(金)	第6回サポート委員会	農業体験の収穫もち米について ニューイヤーコンサートについて	43名
2月18日(木)	第7回サポート委員会	小・中学校卒業生への赤飯の贈呈につ いて	42名
*その他各部会会議 開催			

5 地域人材について 登録分野・支援場面等	
登録分野	読み聞かせ、囲碁・将棋、子育て支援 等 45分野
支援場面	南古谷小学校・牛子小学校・・・総合学習 南古谷中学校・・・・・・・・・・ふれあいタイム
計 60人	

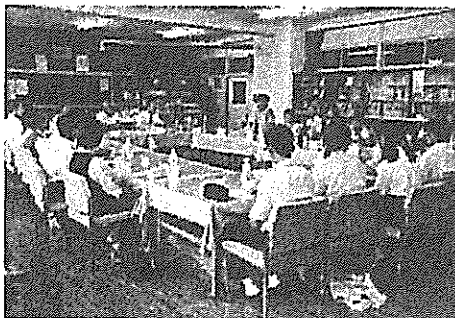
## 6 成果と課題

### 《成果》

学校支援コーディネーターと協力し、学校との連携強化をはかった。  
 子どもサミットでは、子どもたちが主体となって行う事業について話し合った。児童・生徒どうしでの話し合いのなかで、内容を具体化していくプロセスを経験することができた。  
 「生涯学習フェスティバル（まなびピア埼玉 2009）」で南古谷ウインド・オーケストラが演奏を行い、南古谷地区の子どもサポート活動を全国に発信した。

### 《課題》

本年度を踏まえ、地域に根ざした継続可能な事業に努めたい。  
 児童・生徒が主役となれるよう事業展開を図っていく。  
 児童会・中学、高校の生徒会の役員による子どもサミットの充実を図る。  
 児童・生徒と地域との関わりが深まりつつあるので、さらに発展させる。



第4回南古谷地区子どもサミット



第5回南古谷地区子どもサミット



学習支援ボランティア研修会



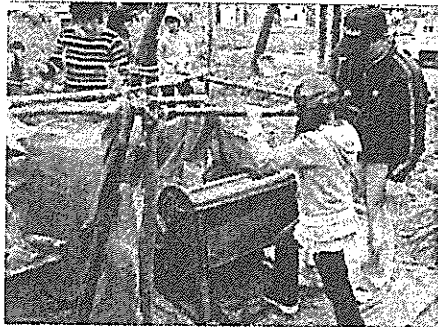
卒業生へ贈る赤飯作り



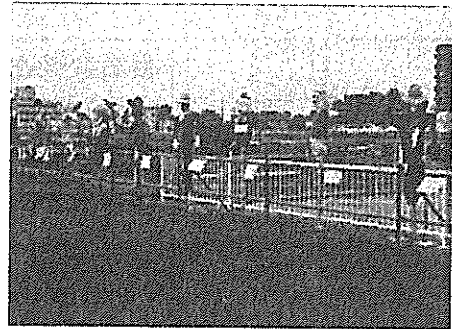
農業体験「田植え」



農業体験「稲刈り」



農業体験「脱穀・粃習り」



かかしまつり



南古谷ウインド・オーケストラ

ときめき情報局

ときめき情報局 第15号

広報紙「ときめき情報局」第15号

ときめき情報局

子どもサミットで子ども文化祭を開催し、

ときめき情報局 第16号

広報紙「ときめき情報局」第16号

ときめき情報局

1月10日(日)文部科学省文化庁主催「ふるさとコンサート」で第4回ふたごイヤーコンサートを開催しました。おやまあまの19組が出演。100名以上の出演者が参加し、100名以上の観客が参加しました。このコンサートは、おやまあまの19組が出演し、おやまあまの文化を伝える貴重な機会となりました。おやまあまの文化を伝える貴重な機会となりました。おやまあまの文化を伝える貴重な機会となりました。

ときめき情報局 第17号

広報紙「ときめき情報局」第17号

## 古谷地区 地域子どもサポート委員会の活動紹介

1 はじめに	<p>地域の紹介（サポート委員会の活動を踏まえて）</p> <p>古谷地区は川越市の東玄関に位置し、荒川・入間川を挟んでさいたま市に隣接している。人口約11,000人、4,000世帯の地域で、中央に国道16号線が走り住宅地や田園風景も見られる。</p> <p>また、伊佐沼や総合運動公園のほか、ほろ祭りが行われる県指定文化財などが点在する、自然豊かな地域でもある。</p>		
2 事業のねらい	<p>○子どもたちの活動を支援するための事業の実施。</p> <p>○地域社会の連携・協力をとおして、充実した子どもたちの活動を支援する。</p> <p>○家庭や地域社会の教育力の向上を図り、子どもたちの「生きる力」を育む。</p>		
3 サポート 委員会 組織構成	委員 42名	<p>自治会長会（3）、体育指導員、2校PTA（3）、育成会（3名）、ボランティアグループ（2）、中学校元PTA（3）、小学校元PTA（2）、前育成会長（3）、保健推進員、主任児童委員、民生委員、少年補導員、交通安全協会、交通安全母の会、ボランティア（公募）</p>	
	協力員 8名	<p>古谷小学校（校長・主幹教諭）、東中学校（校長・教務主任）、県立川越特別支援学校（校長・コーディネーター）、公民館（館長・副館長）</p>	
4 活動内容			
① 主要な事業			
月日（曜）	実 施 事 業	内 容（参加人数）	
6月20日（土） 他7回	公民館事業「はらっぱ」	指導者として、また講師の補助として青少年事業への協力	
8月 1日（土）	納涼盆踊り大会	共催事業（防犯パトロール・綿菓子担当）	
9月26日（土）	古谷地区内学校修繕会	主催事業（古谷小学校の美化作業）	
10月11日（日）	古谷地区体育祭	共催事業（玉入れ競争・地域交流の支援）	
10月10日（土） ～11日（日）	子ども作品展 "	主催事業（地区内小中学生の作品展示他、延べ入場者数：661名）	
1月16日（土）	親子凧あげ大会	共催事業（子どもたちの凧作成等の支援）	
3月15日（月）	地域情報誌の発行	地域情報誌「古谷の輪」第4号発行	
4月～3月（随時）	公民館だよりへ「サポート伝言板」の掲載	3校（古谷小・東中・県立川越特別支援学校）の行事等を随時紹介	
② サポート委員会開催状況			
月日（曜）	会 議 名	内 容	参加人数
5月21日（木）	第1回委員会	事業実施計画・収支予算等について	30名
8月 3日（月）	第2回委員会	小学校補修作業プランについて	18名
9月16日（水）	第3回委員会	補修作業・作品展について	32名
1月13日（水）	第4回委員会	実践報告会について	21名
2月10日（水）	第5回委員会	実践報告会について	15名



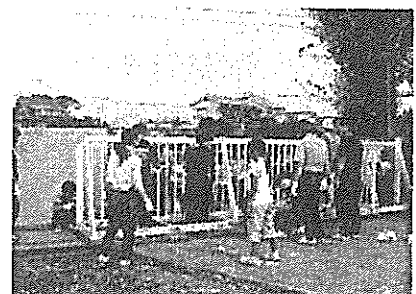
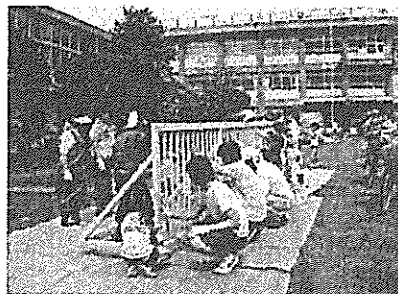
(余白がある場合) 参考資料: 情報誌、チラシ、写真等デジカメで貼り付ける



平成21年6月20日～「はらっぱ」支援



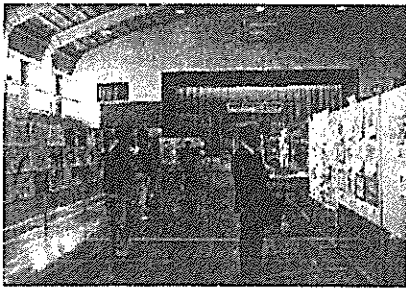
平成21年8月1日納涼盆踊り大会(地域支援)



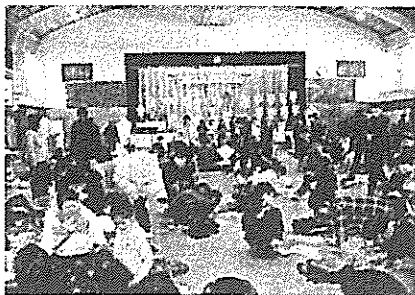
平成21年9月26日に開催した主催事業「古谷小学校リフレッシュ作戦」の様子



平成21年10月11日古谷地区体育祭・地域事業の支援



平成21年10月10日～11日に開催した主催事業「子ども作品展」の様子



平成22年1月16日に開催した第6回親子凧あげ大会(地域支援事業)



## 川鶴地区 地域子どもサポート委員会実践報告書

1 はじめに	川鶴地区は、川越市の最西端に位置し、鶴ヶ島市に境を接する東西に細長い新興住宅地である。域内に小学校、中学校、公民館が各1存って、通勤者の多くは東上線鶴ヶ島駅を利用している。近くには小畔川が流れ、桜の名所「小畔水鳥の郷公園」がある。現在の人口は約6、500人である。		
2 事業のねらい	1. 家庭、地域、学校、公民館が密接に協力し一体となって、子ども達の体験学習の場を提供し、健全で充実した子ども達の活動を支援する。 2. 創意に満ちた魅力ある行事を推進し、大人と子どもの交流を深める		
3 サポート 委員会 組織構成	委員 24名	各自治会長、青少年を育てる地区会議会長、民生児童委員、地区社会福祉協議会会長、川越西小・川越西中校長、各PTA代表、川鶴公民館長、地区子ども会会長、市老連川鶴支部長、少年補導員川鶴班長、公民館登録グループ代表、市体育指導委員、川越西小開放運営委員会代表、児童見守り活動隊表等	
	協力員 3名	川越西小学校（教諭）、川越西中学校（教諭）、川鶴公民館（副館長）	
4 活動内容	① 主要な事業（*印は協力事業を示す）		
月 日（曜）	実 施 事 業	内 容（参加人数）	
5月31日（日）	第1回川鶴地区 子どもサポートフェスティバル	昔の遊び、輪投げ、ペタンク、卓球、ブーメラン、ストラックアウト、吹き矢、スタンプラリー、模擬店等	
7月12日（日）	*校区少年少女スポーツ大会	自治会対抗ソフトバレーボール大会（220）	
10月4日（日）	*川鶴地区連合運動会	二人三脚、菓子食い競走、百足競走、綱引き、男女混合リレー等	
10月31日（日） ～ 1日	*川鶴地区連合文化祭	書道、絵画、小学生の合唱とレコーダ演奏、中学生の吹奏楽演奏、地域紹介コーナー等	
11月29日（日）	第2回川鶴地区 子どもサポートフェスティバル	卓球、バドミントン、昔の遊び、竹笛作り、ビンゴゲーム、輪投げ、新ゲーム、豚汁講習会（221）	
② サポート委員会開催状況			
月 日（曜）	会 議 名	内 容	参加人数
4月11日（土）	フェスティバル実行委員会①	実施項目、組織	46名
5月9日（土）	総会	役員選出、事業計画、予算	28名
5月16日（土）	フェスティバル実行委員会②	実施内容の詳細	59名
9月5日（土）	第1回サポート委員会	予算配分、人材バンク	24名
10月24日（土）	第2回サポート委員会	フェスティバルの検討	24名
11月14日（日）	フェスティバル実行委員会	実施内容の詳細、組織	53名
4月10日（土）	第3回サポート委員会	活動報告、決算 総会準備 (事業計画、予算、役員等)	25名

5 地域人材について 登録分野・支援場面等

登録分野	地域事業ボランティア	計 6 人
支援場面	子どもサポートフェスティバルでのスポーツ部門、遊び部門、物作り部門等	計 6 人

6 成果と課題

<成果>

4年目に入り、子どもサポートフェスティバルは関係者に十分に理解され、自治会、学校、公民館、関係団体、及びボランティアが積極的に協力され、川鶴の子供たちを自分たちで育てようとする意識が定着しつつあります。又、学校が積極的に参加、特に中学生が多数参加され、世代間の交流が盛んとなった。

<課題>

- (1) 登録ボランティア数を増やす必要がある。
- (2) 他団体のイベント多数、組織の運営する人材が重なる。

## 霞ヶ関地区 地域子どもサポート委員会の活動

1 はじめに	地域の紹介 明治22年霞ヶ関村として誕生。その後、昭和30年川越市に吸収合併された。川越市の西部に位置し、東西に県道川越日高線が走っている。現在では市全体人口の約1割を占めており主要な地域である。	
2 事業のねらい	○ 子どもたちの生きる力を育む活動を展開・サポートする。 ○ 子どもサポート委員及び協力員の意識向上を図る。	
3 サポート 委員会 組織構成	委員 24名	自治連霞ヶ関支会、青少年を育てる霞ヶ関地区会議、霞ヶ関地区民児協、霞ヶ関体育文化振興会、公民館登録グループ連絡協議会、霞ヶ関小学校育成会、霞ヶ関西小学校育成会、小江戸塾同窓会、ちびっ子まつり実行委員会、霞ヶ関小学校PTA、霞ヶ関南小学校PTA、霞ヶ関西小学校PTA、霞ヶ関中学校PTA、霞ヶ関西中学校PTA
	協力員 12名	霞ヶ関小学校（校長・教諭）、霞ヶ関南小学校（校長・教諭）、霞ヶ関西小学校（校長・教諭）、霞ヶ関中学校（校長・教諭）、霞ヶ関西中学校（校長・教諭）、公民館（館長・副館長）
4 活動内容 ① 主要な事業		
月日（曜）	実施事業	内 容
10月25日（日）  平成21年7月 ～22年2月	1) ちびっ子まつり  2) 学校支援	主に小学生の中低学年を対象とした、ちびっ子まつりのイベントのうち、昔遊びコーナー及び餅つきコーナーを担当した。 餅つきは子どもたちに杵をもたせ、実際に餅をつかせ大好評であった。  ①霞ヶ関小学校 ザリガニ取り・持久走大会・凧揚げ・博物館見学 ②霞ヶ関西小学校 モーモースクール・木版画・博物館見学 ③霞ヶ関南小学校 消防署見学・安比奈親水公園での虫取り ④霞ヶ関中学校 特別支援学級のイモ掘り ⑤霞ヶ関西中学校 合唱コンクール時の駐輪場整理

10月31日(土)	3) ミニコンサート	童謡を中心に親子で楽しく歌い交流を図った。(83名参加) 歌唱指導 前田千恵子 先生 ピアノ伴奏 藤井 祥子 先生
12月13日(日)	4) 講演会の開催	霞ヶ関地区内小学校三校、中学校二校の保護者を対象に開催した。(97名参加) 講師 東京国際大学客員教授 松尾鉄城 先生 演題「学校・家庭・地域のつながり方について」
平成21年 11月20日(金) 平成22年 3月中旬頃予定	5) 広報誌の発行	第6号 霞ヶ関地区内全戸配布 第7号 霞ヶ関地区内全戸配布

## ② サポート委員会開催状況

月日(曜)	会議名	内容	参加人数
6月11日(木)	正副委員長会議	事業報告・事業計画・学校支援	3名
6月26日(金)	第1回子どもサポート委員会	事業報告・事業計画等	35名
9月9日(水)	事業部会	学校支援・事業等の協議	18名
10月2日(金)	第2回子どもサポート委員会	今後の取り組み等の協議	23名
2月5日(金)	第3回子どもサポート委員会	事業報告・事業計画等	25名

## 5 地域人材について 登録分野・支援場面等

登録分野	レクリエーション・ゲーム	1人	手遊び・腹話術	1人
	布ゾウリ・注連縄・注連飾り	1人	子どもの遊び全般	1人
	野外活動全般	1人		計 5人
支援場面	学校支援時に応援参加			

## 6 成果と課題

### [成果]

子どもサポート委員会の発足4年目であり、事業展開を如何にしていくかが議論されたところだが、新たにミニコンサートを実施することができたことは進歩であった。

また、昨年度までは小学生を対象とした活動が中心であったが、今年度は中学校の合唱コンクール時の駐輪場の整理や、特別支援学級のイモ掘りの協力をし、念願であった中学生を対象とした事業への取り組みができたことは大きな成果であった。

## 事業部会の成果

### 1) ちびっ子まつりのサポート

今年度も昔遊びコーナーと餅つきコーナーをサポート委員会で担当した。

昔遊びの内容としては、ベイゴマ、コマ回し、メンコ等を遊び材料として選んだ。これらの遊びを初めて体験する子ども達も多いと感じられたが、皆、楽しそうに遊んでいた。

また、餅つきは、ちびっ子まつりの恒例イベントとなっている。杵の重さに驚いた様子の子どものもいたが、よい経験になったことであろう。

### 2) 学校支援

霞ヶ関地区管内の小中学校の五校から要請を受け主に次のような支援を行ってきた。

支援内容は各小中学校から事前に支援を受けたい事業を提示していただき、サポート委員会がそのなかから支援可能のものを選定して支援した。



#### ア 霞ヶ関小学校

ザリガニ取り

・・・会場までの交通安全とザリガニ取りの指導をした。

持久走大会

・・・全校生を対象とした持久走大会の会場整理をした。

凧揚げ

・・・凧糸の絡みをほぐすことや凧揚げ会場までの往復の交通安全を確保した。

博物館見学

・・・往復の交通安全確保と博物館見学の付き添いを行った。

#### イ 霞ヶ関西小学校

モーモースクール

・・・会場である農業大学校までの往復の交通安全確保と乳しぼりのサポートを行った。

木版画

・・・どんぐりを使用したおもちゃ工作のアドバイスをを行った。

市立博物館見学

・・・往復の交通安全の確保と博物館見学の付き添いを行った。

#### ウ 霞ヶ関南小学校

消防署見学

・・・学校の授業の一環であったが、サポート委員が応援をした。

虫取り

・・・往復の交通安全確保とさつまいも掘りの手助けを行った。

#### エ 霞ヶ関中学校

イモ掘り

・・・特別支援学級のイモ掘り作業の協力をを行った。

#### オ 霞ヶ関西中学校

駐輪場整理

・・・合唱コンクールにおける駐輪場整理を行った。

#### 4) ミニコンサート（楽しく歌おう）の開催

期日 平成21年10月31日（土）午後1時30分から3時00分（83名参加）

会場 霞ヶ関公民館

講師 歌唱指導 前田千代子 先生 ピアノ伴奏 藤井祥子 先生

親子で童謡を歌い楽しむと共に、交流を図ることができた。



#### 5) 講演会の開催

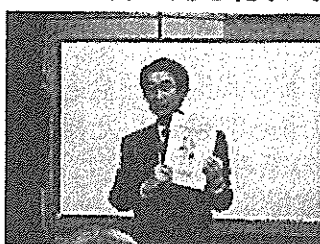
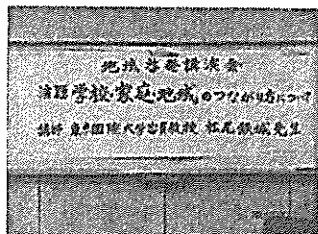
期日 平成21年12月13日（日）午後1時30分から3時00分（97名参加）

会場 霞ヶ関公民館

講師 東京国際大学客員教授 松尾鉄城 先生

「学校・家庭・地域のつながり方について」という演題で講師のお迎えし講演会を開催した。参加対象は霞ヶ関地区管内の三小学校と二中学校の保護者を対象とした。

講師の楽しく流暢な話術に参加者の皆が聞き惚れていたようだった。



#### 広報部会の成果

##### 1) 活動記録

各事業に協働参加し作業するとともに、写真記録を行い広報誌の資料とした。

##### 2) 広報誌「かすみ子どもサポートネット」の第6号及び第7号の発行

霞ヶ関地区内の各小学校のイベントへの支援やちびっ子まつり、ミニコンサート及び地域啓発講演会の模様などを主な記事とした。

今年度発行回数 2回（平成21年11月20日 平成22年2月19日）

発行部数 各回8,500部

配布方法 管内の字町公民館長を通じて全戸配布

##### [課題]

今年度は小学生を対象とした活動の他に念願であった中学生の支援にまで対象を広げることができた。また、ミニコンサートも新規事業として開催できた。しかし、学校支援については、平日の昼間の活動ということになるため参加できる委員が限られてしまう。今後、人材バンク登録者の募集活動を行い、ボランティアの応援を期待することが必要だと思う。



12月11日(金)	『Eye 愛』地域子どもサポート情報誌冬号(第10号)発行	地域の取り組み紹介・子どもサミットを受けて・学舎情報等(発行部数5,000部)
3月8日(月)	川越第一小集団下校時の「こども110番の家」訪問事業	児童数:723名 訪問軒数合計:42件
3月10日(水)	『Eye 愛』地域子どもサポート情報誌春号(第11号)発行	地域の取り組み紹介・サポート委員会の紹介・学舎情報等(発行部数5,000部)
*随時	登下校見守りボランティアの募集	登下校時に声がけと見守りをしてくださる方を募集

## ② サポート委員会開催状況

月日(曜)	会議名	内容	参加人数
5月9日(土)	第1回サポート委員会	役員選出、年間事業計画・子どもサミットに関する協議 外	37人
7月4日(土)	第2回サポート委員会	子どもサミット実施報告、文化祭作品展示・高校文化祭見学ツアーに関する打ち合わせ 外	39人
9月5日(土)	第3回サポート委員会	子どもサミットを受けての事業展開に関する協議 外	37人
11月21日(土)	第4回サポート委員会	子どもサミットを受けての事業展開に関する協議 外	34人
1月23日(土)	第5回サポート委員会	「こども110番の家」訪問に関する打ち合わせ・「ミニかわごえ」事業の協力内容の検討 外	34人
3月20日(土)	第6回サポート委員会	「こども110番の家」訪問事業の報告・平成22年度事業に関する協議・会計報告 外	—
	※各部会は随時開催		

## 5 地域人材について 登録分野・支援場面等

登録分野

登下校見守りボランティア(川越第一小・中央小・仙波小学校区)

計17人

## 6 成果と課題

「まちづくり子どもサミット」は、子どもたちに自分たちで意見をまとめて発表してもらうことで、子ども社会を大切にし、地域の大人と子どもを繋げることを目的として開催した。発表会では、「遊び場」や「環境問題」、「防犯の問題」などについて子どもたちがのびのびと発表をし、多くの地域の方々から「子どもたちの思いを知ることができてよかった」との感想をいただいた。

サポート委員会では、情報誌も用いて地域の方々に子どもたちの声を発信している。また、子どもたちの声を受け「こども110番の家」に関して協議を行い、「こども110番の家」への訪問事業を実施することとなった。「遊び場」についても、現在委員会にて検討中である。



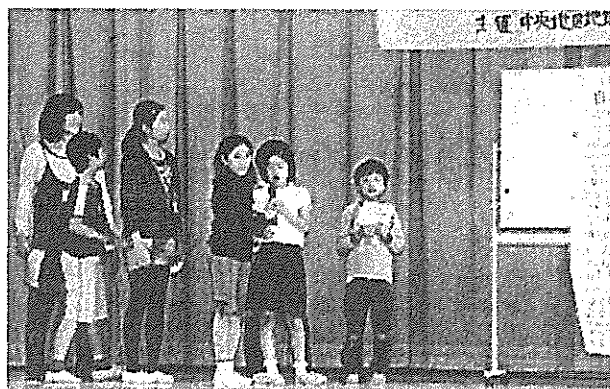
今後、子どもたちが要求している課題を切り口に、地域社会が必要としている課題に対して、地域の方々にご協力をいただきながら取り組んでいきたい。

そのためには、地域の各団体との連携が必要不可欠のため、今後更に情報交換等を行い、関係を密にすることが重要である。そして、子どもたちが主体的に関わり、かつ地域の方と触れ合い、継続性のある事業を展開することで、「顔の見えるまちづくり」を推進していきたい。



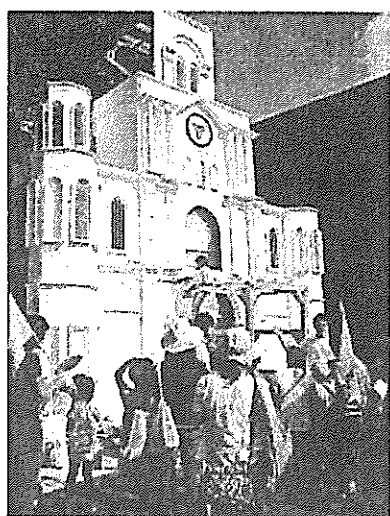
〈まちづくり子どもサミット〉

子どもたちがグループで話し合い、自分たちで意見をまとめて、パネルを作りました。



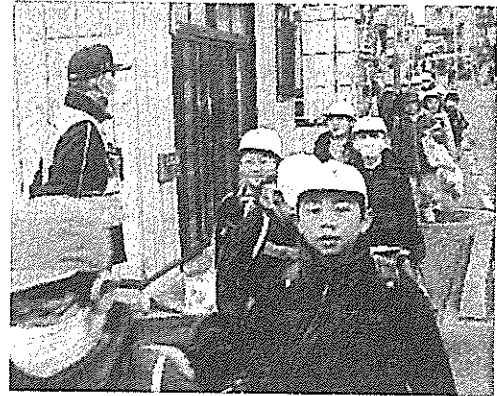
〈まちづくり子どもサミット発表会〉

地域の方々にお越しいただき、子どもたちが考えや思いを発表しました。

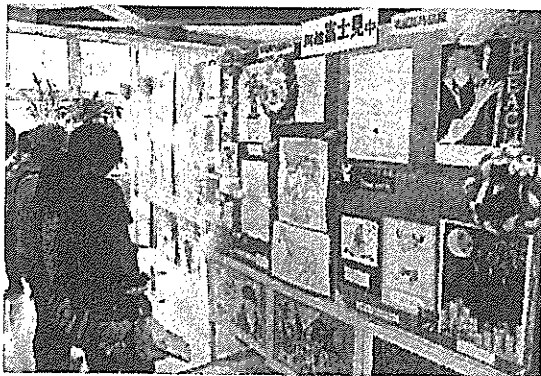


〈高校文化祭見学ツアー〉

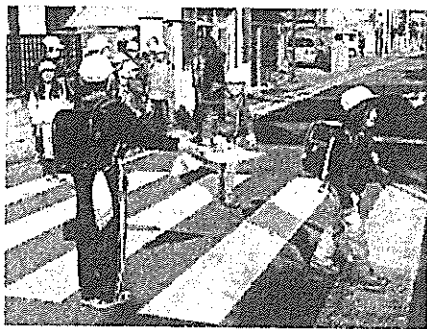
川越高校・川越女子高校・山村学園高校・星野高校の文化祭を見学し、ゲート製作作業を見たり、弓道体験をしてきました。



〈登下校見守りボランティア募集〉  
ボランティアの方に小学生の登下校時の  
見守りと声かけをお願いしています。



〈地区文化祭での作品展示〉  
児童・生徒の作品200点を展示し、地域の皆さんに  
ご覧いただきました。



〈こども110番の家への訪問〉  
川越第一小学校の集団下校に合わせて、「こども  
110番の家」への訪問を実施しました。  
いつも見守ってくれている家の方々に、子ども  
たちが感謝の気持ちを伝えました。

## 高階地区 地域子どもサポート委員会の活動紹介

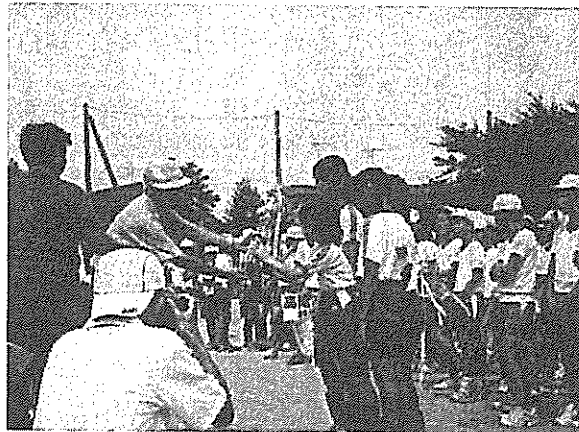
1 はじめに	地域の紹介 高階地区は本市の南部にあってふじみ野市に隣接している。宅地化が進み、昭和40年代に人口が急増し、現在では51,000人を数える。そのため小学校5、中学校4があり、その他公共施設も多い。平成20年5月には市内で初めての市民センターが開設され、行政の新しい動きとして注目されている。	
2 事業のねらい	○ 学校・地域・家庭・社会教育施設が一体となって事業に取り組むことで、子どもたちに思いやりの心をもたせ、互いに生きる力を育ませる。 ○ 事業をとおしてネットワークづくりをし、地域住民が協力して子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを進める。	
3 サポート委員会 組織構成	委員 30名	自治会、体育指導委員、老人会、JLC専門員、青少年を育てる地区会議、公民館登録グループ、主任児童委員、育成会、教育振興会、PTA
	協力員 23名	高階小学校、高階南小学校、高階北小学校、高階西小学校、寺尾小学校、高階中学校、高階西中学校、寺尾中学校、砂中学校（各校長及び教頭または教諭） 高階公民館、高階南公民館、高階図書館（各館長及び職員）
4 活動内容		
① 主要な事業		
月日(曜)	実施事業	内 容 (参加人数)
7月19日(日)	高階地区5校区大会	高階地区5小学校、各校生徒男女2チームずつ計20チーム230名の選手によるドッジボール大会(高階小学校々庭)
9月 1日(火)	情報誌「たかしな子どもニュース 第6号」発行	32自治会を通じて回覧し、地区全体に5校区大会(ドッジボール)の結果報告と武蔵野ふれあいの森コンサートの実施を告知した。
10月11日(日)	武蔵野ふれあいの森コンサート	高階中学校、高階西中学校、福原中学校各吹奏楽部生徒による演奏会。川越南文化会館(ジョイフル)ホールで、地元住民を中心に500名以上の聴衆を集めて盛大に実施した。
1月31日(日)	子育て支援講演会 (保健推進員協議会高階支会 主催事業への協力)	講師：真弓小児科医院 院長 真弓定夫氏 「子育てはキッチンから～今、子どもたちが危ない!～」 参加者99名
2月1日(月)	情報誌「たかしな子どもニュース 第7号」発行	武蔵野ふれあいの森コンサートの結果や諸行事、川越・地域子どもサポート推進事業」実践報告会の開催を告知した。

② サポート委員会開催状況			
月日(曜)	会議名	内容	参加人数
5月12日(火)	サポート役員会	平成21年度事業計画の確認 委員会提出資料の確認	6人
5月19日(火)	サポート委員会	平成20年度事業報告・収支決算 平成21年度事業計画・収支予算 ほか	45人
6月6日(金)	サポート委員会	高階地区5校区大会打ち合わせ	28人
9月19日(土)		平成21年度サポート推進事業 第8回武蔵野ふれあいの森コンサ ートについて ほか	26人
12月4日(金)	サポート役員会	平成21年度サポート推進事業 実施状況について 人材バンクの活用について その他	8人
12月11日(金)	サポート委員会	平成21年度サポート推進事業 実施状況について 人材バンクの活用について その他	39人

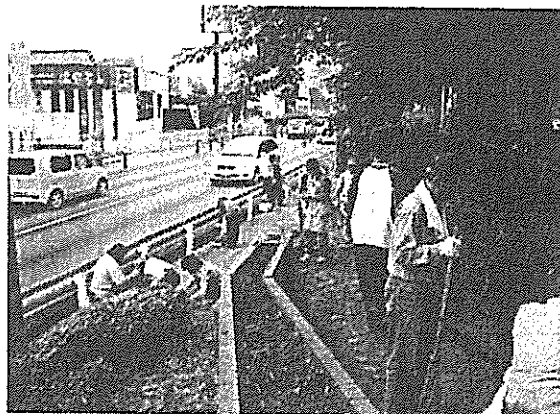
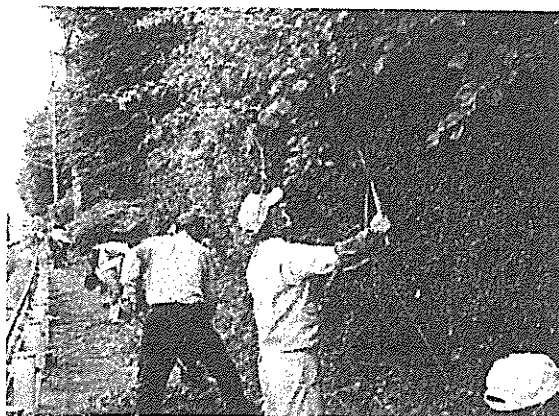
5 地域人材について 登録分野・支援場面等	
登録分野	学習3人、社会7人、自然3人、産業5人、芸術27人、レク12人 家庭生活19人、市民生活4人、国際化6人、支援者5人、その他7人 計 98人
支援場面	【学習支援】 総合的な学習 小6 【環境整備】 植木剪定 中学校・花壇整備 小学校
6 成果と課題	
(成果)	
<p>人口が5万人を超える大きな地区で小・中学校をあわせると9校もあって、全体で新規事業を起こすのには相当の困難がある。そのため、従来から実施されている地区の事業に相乗りする形でサポート事業を行っているが、地域住民や関係団体の役員の協力も得られて盛大に行われている。</p> <p>家庭、地域、学校、社会教育施設が一体となって取り組むことで、地域の連帯感や仲間意識の醸成が進んだ。大人たちには地域コミュニティの醸成、子どもたちには学年を超えたチームづくり或いは学校を跨いだ交流の中で思いやりの心や仲間意識が確実に育っている。</p>	
(課題)	
<p>1 大きな地区なので、より多くの地域住民に子どもサポート事業を理解・協力してもらうための努力は常に必要となる。</p> <p>2 より多くの子どもたちに子どもサポート事業に参加してもらうには、現在のほかに新たな事業を加えることができるか、模索する必要がある。また、継続的・地域ぐるみの事業をいかに構築するかが問われている。</p>	

3 人材バンクに登録してくれた人たちをどのように活用するか、あるいは学校が地域住民に対しどのような協力や援助を求めているかをサポート委員会として把握し、それぞれの要望に応えつつ全体の調整をしていく必要がある。

### 5校区ドッチボール大会



### 高階中学校ツツジ刈込



### 武蔵野ふれあいの森コンサート



## 名細地区 地域子どもサポート委員会の活動

1 はじめに	<p>地域の紹介</p> <p>川越市の北西部に位置し、東を入間川、西を鶴ヶ島市に接する緑の多い農村型地域で自然環境に恵まれ、落ち着いた雰囲気を持った地域である。町名の由来については、古歌の枕詞から引用されたと云われている。この地域は三芳野の里と云われ、「な」高句麗語で土地をあらわす言葉で「くわしい」は古くは「美しい」と云う意味から「美しい土地」と解釈されている。また、歴史的には、平安時代末期から戦国時代にかけて使われた河越館跡があり、「国指定河越館跡史跡公園」として第1期工事が完成しました。</p> <p>区域内には、3つの小学校、2つの中学校、1つの大学を擁し、24の自治会から構成されている。</p> <p>名細公民館及び老朽化した下広谷南公民館が統合され、名細市民名センター内に名細公民館が平成21年12月1日にオープンしました。</p>	
2 事業のねらい	<p>子どもの「生きる力」を育むため、家庭、社会、学校、社会教育施設、地域社会の連携・協力等、子どもたちに様々な体験をさせることを通して、他人を思いやる心や感動する心、豊かな人間性を身に着けさせることを目的として事業を組んでいます。こうした活動の中から、住民同士のコミュニティを活発化させ、安全で安心できる豊かな地域社会を築き上げることをねらいとしている。</p>	
3 サポート 委員会 組織構成	委員 13名	自治会、青少年を育てる地区会議、名細公民館運営協力委員会、名細小PTA、上戸小PTA、広谷小PTA、名細中PTA、鯨井中PTA、公民館利用者
	協力員 12名	名細小学校（校長・教諭）、上戸小学校（校長・教諭）、広谷小学校（校長・教諭）、名細中学校（校長・教諭）、鯨井中学校（校長・教諭）公民館（館長・職員）
4 活動内容		
① 主要な事業		
月日(曜)	実施事業	内 容
6月 7日(日)	さつまいもの植え付け体験へ参加	鯨井自治会と育成会の協力により 230名 参加
7月 5日(日)	七夕飾りへ参加	広谷新町こどもクラブの協力により 60名 参加
10月 1日(木)	サポート情報誌の発行	地域情報誌「豊かななぐわし」第6号 発行 3,000部
11月 3日(日)	さつまいもの収穫祭へ参加	鯨井自治会と育成会の協力により 250名 参加
11月 7日(土)	地域啓発講演会	「生き生きとした子どもを育てるために」～親の関わり方について～
12月13日(土)	餅つき大会へ参加	講師：埼玉県立大学江田節子 氏15名

1月10日(日)	どんど焼きへ参加	広谷新町こどもクラブの協力により オルゴールづくり (3小学校 32名 参加)
1月16日(土)	物づくり工作教室	
2月28日(土)	少年・少女スポーツ大会開催	ドッチボール大会 (3小学校 22チーム230名 参加)
3月1日(日)	サポート情報誌の発行	地域情報誌「豊かななぐわし」第7号 発行 3,000部

## ② サポート委員会開催状況

月日(曜)	会議名	内容	参加人数
6月25日(木)	第1回サポート委員会	事業計画・収支予算等について	14名
10月1日(木)	第2回サポート委員会	子どもサポート情報誌の発行、啓発 講演会について	12名
3月4日(木)	第3回サポート委員会	子どもサポート情報誌の発行、事業 報告について	9名

## 5 地域人材について 登録分野・支援場面等

登録分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英会話(小学生、中学生)</li> <li>・手話</li> <li>・毛筆</li> <li>・三味線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争体験</li> <li>・森林インストラクター</li> <li>・その他各種の子ども支援</li> <li>・味噌作り</li> </ul>	計12人
支援場面	なし		計 人

## 6 成果と課題

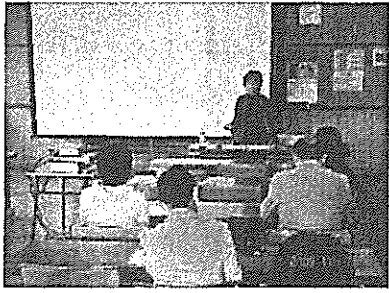
### 成果

- ・新型インフルエンザの流行から児童生徒の参加が危ぶまれ、開催事業の検討を行う等、初めての体験でしたが、参加人数は少ない中でも、子ども達に取っては、貴重な体験をする事が出来たと思います。

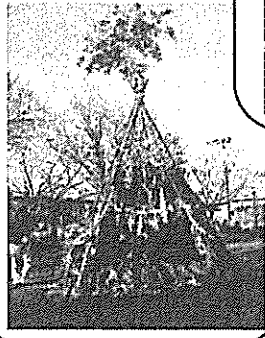
### 課題

- ・今後、地域に根差したサポート事業をさらに進めていくためには、本委員会を地域のより多くの人たちに知ってもらうと共に、地域の特色を生かした継続可能な事業を、一步一步進めていく必要がある。
- ・4年目となると開催事業もマンネリ化し、地域の方が事業の企画の段階から積極的に参加して頂けるようなスタッフを培っていければと思います。

11月7日地域啓発講演会（生き生きとした子どもを育てる為に）



平成22年1月11日 どんど焼きに参



1月16日 物づくり工作教室（おボール作りにチャレンジ）





## 山田地区 地域子どもサポート委員会の活動紹介

1 はじめに	人口1万人余の山田地区は、川越市の北部に位置した田園風景が広がる農村地域です。市指定無形民俗文化財になっている筒粥の神事・まんぐり・獅子舞をはじめ、祭り囃子など民俗文化が豊かに継承されています。	
2 事業のねらい	家庭・学校・公民館・地域社会が密接に連携・協力し一体となって、子どもたちを育むため学習活動を支援する。 情報誌を充実し、地域住民の行事を通じて関わりを広め、サポート事業の周知につとめる。	
3 サポート 委員会 組織構成	委員 28名	一般ボランティア、支会、青少年を育てる地区会議、民生児童委員協議会、小学校育成会、シニアクラブ、小学校PTA、中学校PTA、ふれあいの里、郷土クラブ、城西学園、パイオニア
	協力員 6名	山田小学校（校長・教諭）、山田中学校（校長・教諭）、山田公民館（館長・職員）
4 活動内容		
① 主要な事業		
月日（曜）	実施事業	内 容（参加人数）
情報誌		
6月15日	山田っ子通信第8号発行	米づくり（種まき・田植え） 下校指導、緑のカーテン作り（ゴーヤ）
9月1日	山田っ子通信第9号発行	総合的学習（陶芸・藍絞り・紙すき他） 公民館学習、かかしづくり等
12月1日	山田っ子通信第10号発行	米づくり（稲刈り・収穫祭）、小学校美化活動、かかしまつり、学習発表会他
3月1日	山田っ子通信第11号発行	環境整備、実践報告会
山田小学校		
5月8日	下校指導	小学校1年生の下校時の付添い
～6月29日		
5月13日	緑のカーテン（ゴーヤ）	ゴーヤ・花壇づくり（5/13） 植え付け（6/4）水やり（7/18～9/ ） 収穫・ネットはずし
5月19日～	総合的学習 藍染め体験	小学校5年生の総合的学習の支援 藍染めの歴史の学習（5/19） 絞り（7/1）、染め（7/8）
	紙すき体験	小学校5年生
7月1日	ザリガニとり	小学2年生の引率
7月10日	かかしづくり	小学3年生のかかしづくり（18体）
9月4日	美化活動	小学校校庭の除草
9月14日	虫とり	小学1年生の引率
10月21日	総合的学習の発表会	小学5年生の発表会

山田中学校		
4月26日	米づくり・種まき	中学1年生の種まき体験
6月27日～ 2月20日	公民館学習会	城西高校生ボランティアによる中学校 生徒の補習指導 土曜日の午後、7回実施
5月27日	米づくり・田植え	中学1年生の田植えの体験
9月6日	かかしまつり	中学1年生と2年生がボランティアとし て参加
9月25日	米づくり・稲刈り	中学1年生の稲刈り体験
11月4日	米づくり・収穫祭	中学1年生の体験学習の成果 飯ごう炊飯と味噌汁で収穫を祝う
1月14日	環境整備	第2グラウンドの樹木の伐採
2月21日	環境整備	第2グラウンドの樹木の伐採

②サポート委員会開催状況

月日(曜)	会議名	内容	参加人数
4月17日(金)	第1回サポート委員会	21年度予算、活動計画	27人
4月30日(木)	第1回運営委員会	藍染体験、田植え体験	13人
5月12日(火)	第2回サポート委員会	下校指導、緑のカーテン、田植え	24人
6月12日(金)	第2回運営委員会	公民館学習会、ゴーヤの水やり	15人
6月19日(金)	第3回サポート委員会	水やり当番、藍染体験他、	27人
8月7日(金)	サポ-ト委員会(臨時)	かかし作り・まつり役割分担等	9人
9月9日(水)	第3回運営委員会	ゴーヤ片付け、虫とり、稲刈り	11人
9月16日(金)	第4回サポート委員会	ゴーヤ片付け、稲刈り	22人
10月22日(木)	第4回運営委員会	収穫祭、文化祭、実践報告会	17人
10月22日(木)	第5回サポート委員会	収穫祭、文化祭、実践報告会	24人
11月19日(木)	第5回運営委員会	実践報告会リハーサル他	12人
12月17日(木)	第6回運営委員会	実践報告会リハーサル他	14人
1月28日(木)	第7回運営委員会	実践報告会リハーサル他	13人
1月28日(木)	第6回サポート委員会	実践報告会リハーサル他	23人
3月4日(木)	第8回運営委員会	H21年度事業報告、決算報告	12人
3月10日(水)	第7回サポート委員会	H21年度事業報告、決算報告	22人

5 地域人材について 登録分野・支援場面等

登録分野	山田地区 子どもサポートボランティア登録制度 下校指導・地区補導員	計 2人
支援場面	◇学習支援：総合的学習 小3「かかしづくり」 小5「染物体験」 中1「米づくり体験」「藍染体験」「着付け体験」 ◇環境整備：樹木の剪定・伐採、除草作業、花壇の整備 ◇安全確保：小学校1年生の下校付添、	

## 6 成果と課題

### 【成果】

- ・学校応援団として、地域のボランティアたちと学校が緊密に連絡をとり協力して子どもたちの学習活動の補助的な支援や下校時の安全な付添いなど多様な場面の支援が実施された。
- ・城西学園高校の生徒による中学校生徒の学習支援が実施された。(公民館学習会)

### 【課題】

- ・組織として、委員が重複して多方面で活動している。常時活動している人の過重が生じてきており、地域の多くの人たちが参加できるしくみが必要である。
- ・サポート事業に対する地域の大人たちの共通理解が図られ、行事やイベントを通じて、地域のネットワーク化ができることを期待したい。

### 《 山田小学校 》

下校指導



緑のカーテン



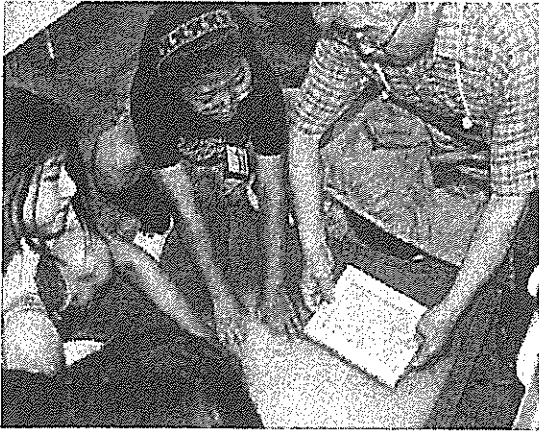
緑のカーテン



藍染め体験



紙すき体験



美化活動



《 山田中学校 》

米つくり・種まき



米つくり・田植え



米つくり・稲刈り



公民館学習会

